■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

付属ソフトウェア（Picture Package）のサポート情報
http://www.ppackage.com/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください）

テクニカルインフォメーションセンター
【電話番号】0564-62-4979
<電話受付時間>
月～金曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

Picture Packageに関するお問い合わせ窓口
ピクセラユーザーサポートセンター
【電話番号】06-6633-3900
<電話受付時間>
月～日曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）

修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。
テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のおすすめ」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

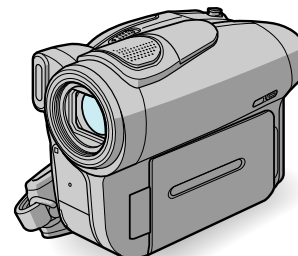
SONY

2-587-622-**04** (1)

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM

取扱説明書

DCR-DVD203/ DVD403

DVDハンディカムで楽しむために 8

準備する 14

シンプル操作 25

本機で撮る/見る 30

DVDプレーヤーやDVDドライブで見る 41

記録済みのディスクを使う 48

本機の設定を変更する 50

本機で編集する 68

ダビングする 73

パソコンとつなぐ 77

困ったときは 82

その他 100

⚠警告　**電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2005 Sony Corporation

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

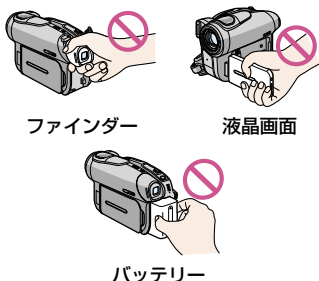
本機には、2種類の取扱説明書があります。

- ハンディカムの取扱説明書（本書）
- 付属のアプリケーションを使用するための「ファーストステップガイド」（付属CD-ROM内）

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。

ファインダー

液晶画面

バッテリー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意とお手入れ」もご覧ください（102ページ）。
- 本機の電源ランプ（18ページ）やアクセスランプ（22ページ）が点灯中に以下のことをすると、ディスクが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。
  - －本機からバッテリーやACアダプターを取り外す。
  - －本機に衝撃や振動を与える。
- USBケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

セットアップ項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるセットアップ項目などは、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。DVD-Rでは1度記録した内容は消去できませんので、ためし撮りにはDVD-RW/DVD+RW（別売り）のご使用をおすすめします（11ページ）。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権保護のための信号が記録されている映像を本機で録画することはできません。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものと異なります。
- イラストや画面表示は、DCR-DVD403をもとに作成されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カールツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

* Modulation Transfer Function（モジュレーション トランスファー ファンクション）の略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

ディスクについて

本機で使用できるディスクは
8cmDVD-R、8cmDVD-RW、
8cmDVD+RWのみです。
以下のマークのついたディスクをお使いください。

本機では、記録/再生における信頼性、耐久性の面から、ソニー製ディスク、または(for VIDEO CAMERA)マークのついたディスクのご使用をおすすめします。

- マークのついたディスクはビデオカメラでの使用に適しています。
- 上記以外のディスクを使用した場合には、正常な記録/再生ができなかったり、ディスクの取出しができなくなる場合がありますのでご注意ください。

ディスク使用時のご注意

- ディスクは記録/再生面(片面ディスクの場合は印刷されていない面)に手を触れないように持ってください。
- 撮影の前にディスクの汚れ、指紋などを同梱のクリーニングクロスで拭き取ってください。ディスクの状態によっては正常な記録/再生ができない場合があります。
- ディスクを装着する際は、カチッという音がするまで確実に取り付けてください。本機の液晶画面に[C：13：□□]が表示された場合は、ディスクカバーを開け、もう1度ディスクを装着し直してください。
- ディスクには、ラベルなどの粘着性のあるものを貼らないでください。ディスクのバランスが崩れると回転ムラが生じ、故障の原因となることがあります。

お手入れと保管

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 付属のクリーニングクロスでディスクの中心から外側へ向かって軽く拭きます。汚れのひどいときは、水で少し湿らせたやわらかい布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭きとってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

- 直射日光が当たるなど温度の高い場所や、湿度の高い場所には置かないでください。
- 持ち運びや保管の際は付属の収納ケースに入れてください。
- 片面ディスクに文字などを記入する場合は、印刷されている面に記入してください。ボールペンなどの硬いものは避け、油性フェルトペンで記入し、インクが乾くまで放置してください。また、加熱による乾燥は避けてください。両面ディスクには記入できません。

目次

DVDハンディカムで楽しむために

DVDハンディカムでできること 8
ディスクの選びかた 11

準備する

準備1：付属品を確かめる 14
準備2：バッテリーを充電する 15
準備3：電源を入れて正しく持つ 18
準備4：液晶画面とファインダーを調節する 19
準備5：タッチパネルを操作する 20
準備6：時計をあわせる 21
準備7：ディスクを入れる 22
準備8：撮影する画像の比率（ワイド/4：3）を選ぶ 24

シンプル操作－自動設定でかんたんに使う

シンプル操作に設定する 25
かんたんに撮る 26
かんたんに見る 27
DVDプレーヤーなどで見るための操作（ファイナライズ） 28

本機で撮る/見る

撮る 30
見る 31

撮る/見るときに使う機能など 32
[撮る]ズームする
臨場感のある音で記録する(5.1chサラウンド記録)
フラッシュを使う
暗い場所で撮る(NightShot/NightShot plus)
逆光を補正する
画面中央にない被写体にピントを合わせる(スポットフォーカス)
被写体を基準に明るさ調節する(フレキシブルスポット測光)
自分撮り(対面撮影)する
画像に演出を加えて撮る(デジタルエフェクト)
三脚を使って撮る
[見る]静止画を連続再生する(スライドショー)
再生ズームする
[共通]バッテリーの残量を確認する
操作音を消す
お買い上げ時の設定に戻す(リセット)
その他の部分の名前とはたらき
撮影した画像を確認/削除する(レビュー/レビュー削除) 36
撮る/見るときの画面表示 37
リモコンで使う 39
テレビにつないで見る 40

DVDプレーヤーやDVDドライブで見る

DVDプレーヤーやDVDドライブで見られるようにする(ファイナライズ) 41
DVDプレーヤーなどで見る 45
パソコンのDVDドライブで見る 46

記録済みのディスクを使う(DVD-RW/DVD+RW)

ファイナライズ後に本機で追加記録する 48
ディスクの画像をすべて削除する(初期化) 49

次のページへつづく ➡

本機の設定を変更する

セットアップ項目の使いかた *50*

セットアップ項目一覧 52

カメラ設定 54
撮影状況に合わせるための設定(明るさ/ホワイトバランス/手ぶれ補正など)

静止画設定 58
静止画に関する設定(画質/画像サイズ/連写など)

ピクチャーアプリ 59
画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能(デジタルエフェクト/ピクチャーエフェクト/スライドショーなど)

ディスク設定 61
ディスクに関する設定(初期化/ファイナライズ/ファイナライズ解除など)

基本設定 62
撮影時の設定や、各種基本設定(録画モード/パネル・VF設定/USBスピードなど)

時間設定 65
(日時あわせ/エリア設定/サマータイム)

パーソナルメニューを変更する 66

本機で編集する(DVD-RW:VRモード)

オリジナル画像を編集する 68

プレイリストを作る 69

プレイリストを再生する 72

ダビングする

テレビやビデオにつなぐ 73

他のビデオ/DVD機器にダビングする 74

テレビやビデオ/DVD機器などの画像を本機で録画する 75

外部機器をつなぐ端子について 76

パソコンとつなぐ

パソコンで「ファーストステップガイド」を見る前に 77
ソフトウェアなどをインストールする 78
「ファーストステップガイド」を見る 81

困ったときは

故障かな？と思ったら 82
警告表示とお知らせメッセージ 96

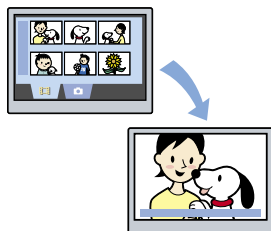
その他

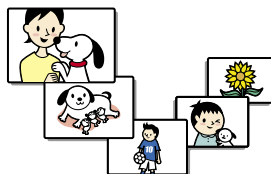
海外で使う 100
InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて 101
取り扱い上のご注意とお手入れ 102
ストラップベルトをリストストラップとして使う 104
主な仕様.. 105
保証書とアフターサービス... 107
索引.. 108

DVDハンディカムでできること

DVDハンディカムは、8cmDVD* に画像を記録します。
手軽に撮って見られる、DVDハンディカムならではの使いかたをお楽しみください。

ディスクの内容がひとめでわかるビジュアルインデックス

動画も静止画も同じディスクに記録されます。記録された画像は一覧表示でき、見たい画像は一覧表示から探せます（27、31ページ）。

記録した静止画をスライドショーで再生

静止画を次々と表示するスライドショー再生ができます。ファイナライズ** すれば、DVDプレーヤーなどでもスライドショーを楽しめます（28、41ページ）。

DVDハンディカムの使いかたの流れ

準備する

（14ページ）

撮る

（26、30ページ）

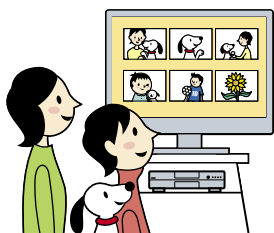
本機で見る

（27、31ページ）

他のDVD機器で見る
（ファイナライズ** する）

（28、41ページ）

撮影したディスクを DVDプレーヤーなどで再生

ディスクをファイナライズ**すれば、DVDプレーヤーやパソコンのDVDドライブなどで再生できます。見たい画像をすぐに選べるDVDメニューも作成できます（28、41ページ）。

付属のソフトウェアを使って パソコン編集

付属の画像編集ソフトウェア「Picture Package」を使って、音楽を入れたり画像に効果を加えたりして、オリジナルDVDを作成できます（77ページ）。

---

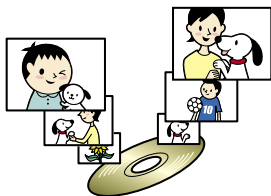
* DVD（Digital Versatile Disc（デジタル ヴァーサタイル ディスク））とは、画像を記録できる大容量光ディスクです。本書では8cmDVDを「ディスク」と表現しています。

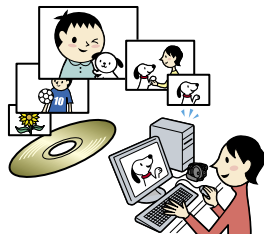
** ファイナライズとは、撮影した後、画像を記録したディスクを他のDVD機器などで再生できるようにする互換処理のことです（28、41ページ）。ファイナライズ後は、ディスクの種類や記録フォーマット（11ページ）によって、追加記録ができなくなる場合があります。

次のページへつづく ➡

テープとは違う、DVDならではの機能

すぐ撮れて、巻戻しせずすぐ再生

巻戻しや早送りの必要がなく、撮りたいときに撮影を始められ、見たいときにすぐ画像を確認できます。また、画像は自動的にディスクの空いたスペースに記録されるので、大切な画像を誤って消してしまうことはありません。

画像をパソコンへ高速転送

パソコンとの高速アクセスが可能です。実際の記録時間より短い時間で、画像を取り込めます。お使いのパソコンがHi-Speed USB（USB2.0準拠）に対応している場合は、より高速な画像転送が行えます。

撮影シーンに適した画質に自動調節

撮影シーンに合わせて画質を自動調節するVBR* 方式により、ディスク容量を効果的に使って記録できます。動きの速い映像は、ディスクの容量を多く使い鮮明な画像を記録するため、ディスクへの記録時間が短くなることがあります。

* VBRとは、Variable（バリアブル） Bit（ビット） Rate（レート）（可変ビットレート）の略で、撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節させる記録方式です。

ディスクの選びかた

どのディスクが使えるの？

本機で使えるディスクは、以下の3種類です。
DVD-RWディスクをお使いのときは、VRモードかVIDEOモードいずれかの記録モードが選べます。

ディスクの種類と記録フォーマット	8cm DVD-R	8cm DVD-RW		8cm DVD+RW
		VIDEOモード	VRモード	
本書で使用しているマーク	DVD -R 8cm	DVD -RW 8cm VIDEOモード	DVD -RW 8cm VRモード	DVD +RW 8cm
特徴	1度だけ記録できる使いきりタイプ	容量がいっぱいになっても、初期化*して繰り返し使えるタイプ		

• ソニー製のディスク、または(for VIDEO CAMERA)マークのついたディスクをお使いください。

DVD -RW 8cm DVD-RWの記録フォーマットの違い

VIDEOモード は、ファイナライズすると、ほとんどのDVD機器で再生できます。

VRモード は、Video Recording(ビデオ レコーディング)モードの略で、本機上で不要な画像を削除したり、動画を分割するなど簡易編集ができます。ファイナライズすると、VRモード対応のDVD機器で再生できます。

• お使いの機器がVRモードに対応しているかどうかは、その機器の取扱説明書で確認してください。

DVD+RWでの記録について

本機のお買い上げ時の設定では、ワイド(16：9)で撮影されます。ワイドで撮影したDVD＋RWを、ワイド(16：9)映像に対応していない4：3テレビと接続したDVDプレーヤーなどで再生すると、横方向を圧縮した縦長の映像で表示されます。この場合は、本機をAV接続ケーブルでTVと接続し、セットアップ項目の[TVタイプ]を[4：3]に設定し(40ページ)、DVD＋RWの再生をお楽しみください。
また、ワイド切替ボタンで4：3に設定して撮影したDVD＋RWをDVDプレーヤーなどで再生する場合は、通常の4：3の画像でご覧になれます。

• お使いのテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機で使えないディスクの例

12cm DVD-R、12cm DVD-RW、12cm DVD+RW、DVD+R、DVD-RAM、DVD-ROM、CD、CD-R、CD-ROM、CD-RW

* 初期化とは、ディスクを書き込み可能な状態にすることです。同時に、ディスク内の記録画像を一括削除して容量を元に戻す機能もあるため、ディスクを繰り返し使用できます(49ページ)。

次のページへつづく ➡

できることは、ディスクごとにどう違うの?

ディスクの種類や記録フォーマットによって、次のように変わります。

( )は参照ページ

ディスクの種類		DVD -R 8cm	DVD -RW 8cm VIDEOモード	DVD -RW 8cm VRモード	DVD +RW 8cm
動画も静止画も撮影できる	(26、30)	●	●	●	●
撮影したばかりの画像を確認できる	(36)	●	●	●	●
撮影したばかりの画像を削除できる	(36)	–	●	●	●
ファイナライズすると、他のDVD機器で再生できる*1	(28、41)	●	●	●	●
ファイナライズしなくても、他のDVD機器で再生できる*1	(41)	–	–	–	●*2
ワイド(16:9)で撮影した画像を、DVDプレーヤーなどでワイド(16:9)画像のまま再生できる	(24)	●	●	●	–
ファイナライズ時にDVDメニューを作成できる	(42)	●	●	–	●
ファイナライズ後に追加記録できる	(48)	–	●*3	●	●*4
ディスクの容量がいっぱいになっても初期化して繰り返し使用できる	(49)	–	●	●	●
本機で画像の編集ができる	(68)	–	–	●	–
パソコンに画像を取り込んで編集できる	(77)	●	●	●	●

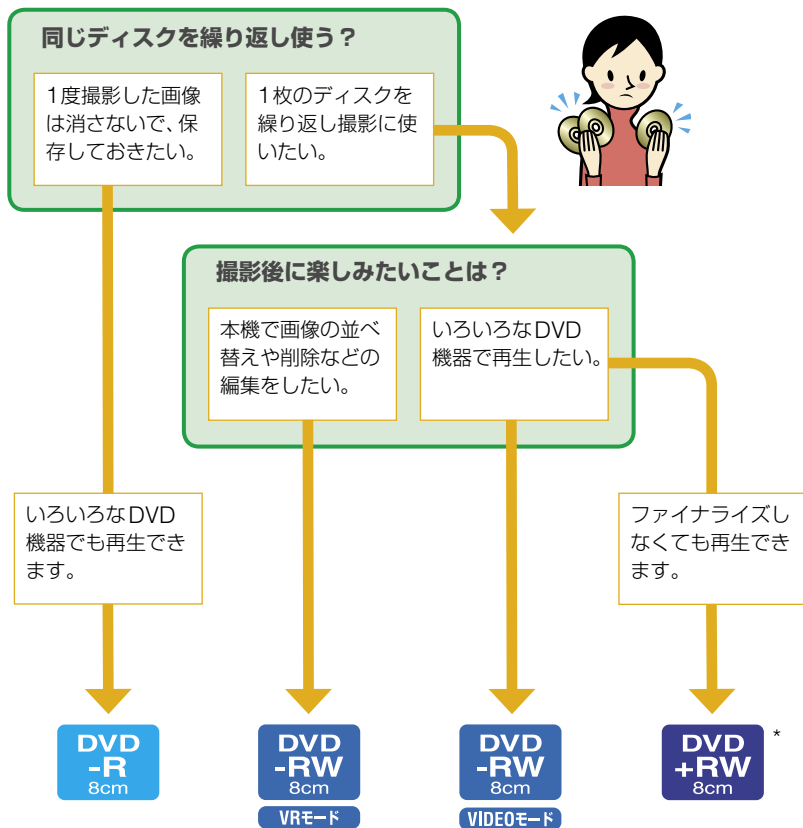
*1 本機で記録したディスクは、家庭用のDVDプレーヤー/DVDレコーダー、パソコンのDVDドライブで再生できます。VRモードで記録したDVD-RWは、VRモードに対応した機器で再生してください。すべての機器での再生を保証するものではありません。詳しくは、再生機器の取扱説明書をご覧ください。また、ソニー製品との互換性は下記のホームページで確認してください。
http://www.sony.jp/products/dvd/index

*2 パソコンのDVD-ROMドライブでは再生しないでください。故障の原因になります。

*3 ファイナライズ解除が必要です(48ページ)。

*4 追加記録の確認画面が表示される場合があります(48ページ)。

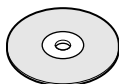
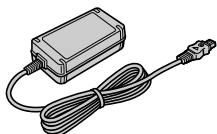
かんたんディスク選び

あなたの使いかたに合うディスクや記録フォーマットをご案内しましょう。

目的に合うディスクが選べましたか？
それでは、DVDハンディカムで撮影をお楽しみください。

* DVD+RWでは、ワイドで撮影した画像をDVDプレーヤーなどで再生すると、横方向を圧縮した縦長の画像になる場合があります。

準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（　）内は個数。

8cm DVD-R DMR30（1）（11ページ）

ACアダプター（1）（15ページ）

電源コード（1）（15ページ）

AV接続ケーブル（1）（40、73ページ）

USBケーブル（1）（77ページ）

ワイヤレスリモコン（1）（39ページ）

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

クリーニングクロス（1）

リチャージャブルバッテリーパック（1）（16ページ）
NP-FP50：DCR-DVD203
NP-FP70：DCR-DVD403

CD-ROM「Picture Package Ver.1.8」（1）（77ページ）

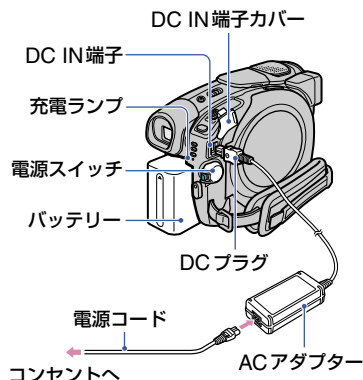
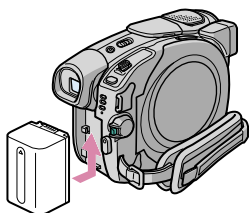
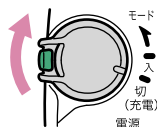
シューカバー（1）（76ページ）（DCR-DVD203）
本機にあらかじめ取り付けられています。

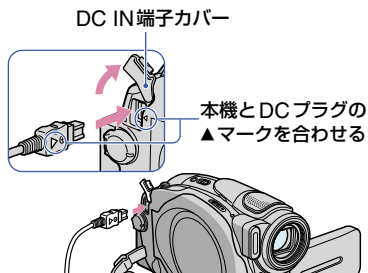
取扱説明書 <本書>（1）

安全のために（1）

保証書（1）

準備2：バッテリーを充電する

専用の“インフォリチウム”バッテリー（Pシリーズ）（101ページ）を本機に取り付けて充電します。

1 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

2 電源スイッチを「切（充電）」（お買い上げ時の設定）にする。

3 ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子につなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACアダプタープラグをつなぎます。

4 電源コードでACアダプターとコンセントをつなぐ。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

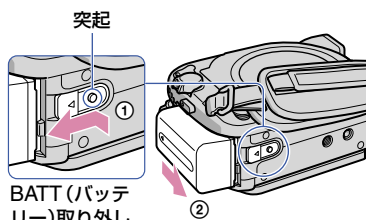
5 充電ランプが消え、充電が終わったら（満充電）、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

本機とDCプラグを持って抜いてください。

次のページへつづく ➡

バッテリーを取り外すには

① BATT（バッテリー）取り外しボタン中央の突起を押しながら、バッテリー側へずらす。

② バッテリーを本機の底面側にずらして取り外す。

• バッテリーは、本機の電源ランプ（18ページ）が点灯していないことを確認してから取り外してください。

保管するときは

長い時間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する（101ページ）。

コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

充電時間（満充電）

使い切った状態からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FP50*	130
NP-FP70**	160
NP-FP90	220

* DCR-DVD203付属
** DCR-DVD403付属

撮影可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

DCR-DVD203

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-FP50（付属）	75 85 90	35 40 40
NP-FP70	160 180 190	70 85 90
NP-FP90	290 320 345	140 155 170

DCR-DVD403

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-FP50	50 55 55	20 25 25
NP-FP70（付属）	115 120 125	55 55 60
NP-FP90	205 220 225	100 105 110

それぞれの時間は以下の条件によるものです。
上段：液晶画面バックライトボタンが「入」のとき
中段：液晶画面バックライトボタンが「切」のとき
下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき

再生可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

DCR-DVD203

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FP50（付属）	90	110
NP-FP70	190	235
NP-FP90	345	415

DCR-DVD403

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FP50	90	105
NP-FP70（付属）	190	225
NP-FP90	345	400

* 液晶画面バックライトボタンが「入」のとき。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切（充電）」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅したり、バッテリーインフォ（35ページ）が正しく表示されないことがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーが消耗しているとき（バッテリーインフォ表示のみ）
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト（別売り）を取り付けたときは、バッテリーパックNP-FP70またはNP-FP90でのご使用をおすすめします。

充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃（10～30℃が推奨）で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3：電源を入れて正しく持つ

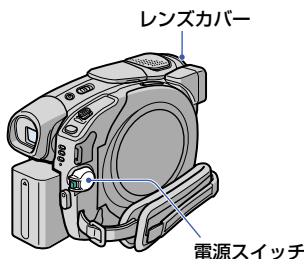
撮影や再生時は、電源スイッチを操作してランプを点灯させます。
初めて電源を入れると自動的に日時あわせ画面になります（21ページ）。

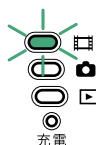
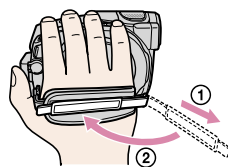
1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向にずらして、本機の電源を入れる。

本機を操作するときは、該当のランプが点灯するまで、電源スイッチを矢印の方向へ繰り返しずらします。

（動画）：動画を撮影するとき

（静止画）：静止画を撮影するとき

（見る/編集）：撮影した動画や静止画を本機の画面で見るときや、簡易編集（DVD-RW：VRモードのみ）をするとき

- 電源スイッチを（動画）または（静止画）にしたときは、自動的にレンズカバーが開き、電源を切ると閉まります。
- ［日時あわせ］（21ページ）を行った後で本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

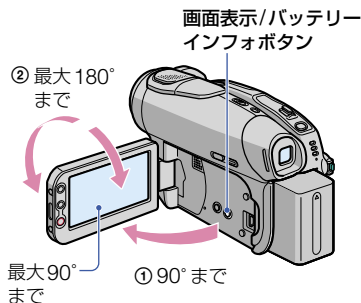
2 本機を正しく構える。

3 ベルトをしっかりと締める。

電源を切るには

電源スイッチを「切（充電）」にする。

- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（［自動電源オフ］、65ページ）。

準備4：液晶画面とファインダーを調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を水平に90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面横のボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 液晶画面を開いた状態でレンズ側に180° 回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。

液晶画面を暗くするには

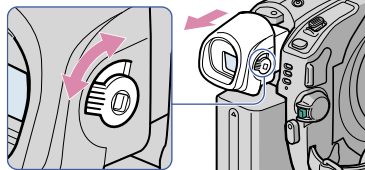
画面表示/バッテリーインフォボタンを（アイコン）が表示されるまで数秒間押したままにする。

明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像に影響ありません。

解除するには、（アイコン）が消えるまで画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにする。

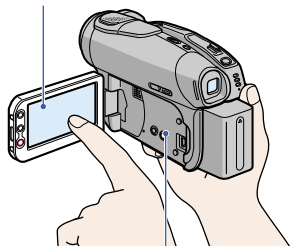
- 液晶画面の明るさは、[パネル・VF設定] - [パネル明るさ]（63ページ）で調節できます。

ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

- ファインダーのバックライトの明るさは、バッテリーを取り付けている場合、セットアップ項目の[パネル・VF設定] - [VFバックライト]で設定できます（63ページ）。録画される画像には影響ありません。

準備5：タッチパネルを操作する

撮影した画像を再生するときや（27、31ページ）、設定を変更するとき（50ページ）は、液晶画面をタッチして操作します。

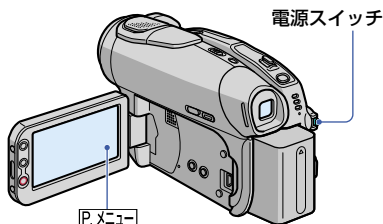
画面上のボタンに指で軽くタッチする（触れる）。

- 液晶画面横にあるボタンを押すときも同様に操作します。
- タッチパネルを操作するときに、液晶画面横にあるボタンを誤って押さないようにご注意ください。

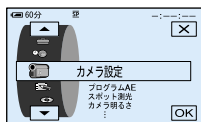
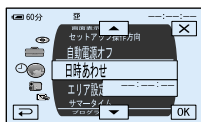
画面表示を消したいときは

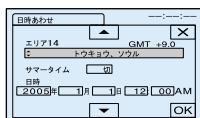
画面表示/バッテリーインフォボタンを押すたびに、カウンターなどの情報が表示↔非表示と切り換わります。

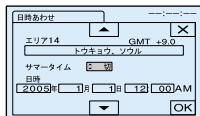
準備6：時計をあわせる

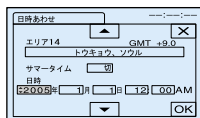
初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、電源スイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]画面が表示されます。

- **3か月**近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(104ページ)。

初めて時計をあわせるときは、手順**4**から操作してください。

1 P.メニュー→[セットアップ]をタッチする。

2 ▲/▼で 時間設定を選び、OKをタッチする。

3 ▲/▼で[日時あわせ]を選び、OKをタッチする。

4 ▲/▼でエリアを選び、OKをタッチする。

5 ▲/▼でサマータイムを設定し、OKをタッチする。

日本国内で使用するときは[切]を選びます。

6 ▲/▼で[年]をあわせ、OKをタッチする。

2079年まで設定できます。

7 同様に、[月]、[日]、時、分をあわせ、OKをタッチする。

時計が動き始めます。
真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

- 世界時刻表は100ページをご覧ください。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。

準備7：ディスクを入れる

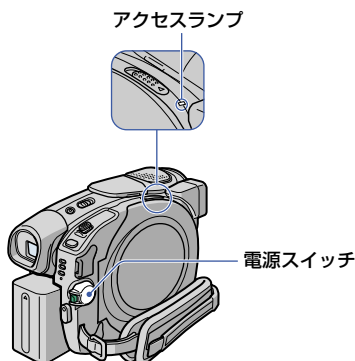
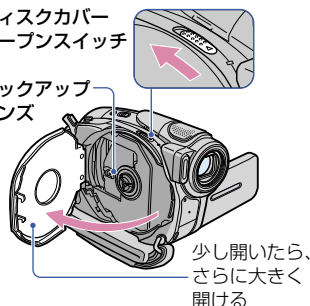
新しい8cmDVD-R、8cmDVD-RW、または8cmDVD+RWのいずれかを用意します（11ページ）。

- **ディスクに付着した指紋や汚れは、付属のクリーニングクロスで拭き取っておいてください(3ページ)。**

1 本機の電源が入っていることを確認する。

- ACアダプターやバッテリーが取りつけてある場合は、電源を入れなくてもディスクを出し入れできます。ただしディスクの認識（手順**4**）は行いません。

2 ディスクカバーオープンスイッチを矢印（開く▶）の方向へずらす。

［取り出し準備中］と表示され、チャイムの後に「ピッピッ」という音が鳴ります。音が鳴り終わると、自動的にディスクカバーが少し開きます。

- 手や物がカバーの開閉の妨げにならないようにご注意ください。ベルトは、本機の下側にずらして操作してください。
- ディスクカバーを閉じるときにベルトをはさむと、故障の原因になります。

3 ディスクの記録面を本機側にして、「カチッ」というまで押し込む。

- 手やディスクの記録面やピックアップレンズには触れないように注意してください。ピックアップレンズについて詳しくは103ページをご覧ください。

4 ディスクカバーを閉じる。

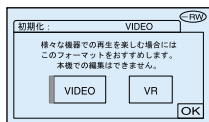
ディスクの認識が始まります。
ディスクの種類や状態によっては、認識するのに時間がかかることがあります。

■DVD-Rのとき
[ディスク認識中]の表示が消えたら、撮影を始められます。手順**5**以降の操作は不要です。

■DVD-RWのとき
記録フォーマットを選び、初期化します。手順**5**に進んでください。

■DVD+RWのとき
初期化画面が表示されます。手順**6**に進んでください。

- シンプル操作に設定中は、[初期化しますか？]と表示されます。OKをタッチして手順**7**へ進んでください。

5 DVD-RWの記録フォーマットを選び、OKをタッチ。

■VIDEOモードは、ファイナライズすると、ほとんどのDVD機器で再生できる記録フォーマットです。
■VRモードは、本機上で不要な画像を削除したり、動画を分割するなど簡易編集ができます（68ページ）。ファイナライズすると、VRモード対応のDVD機器で再生できる記録フォーマットです。

6 [はい]→[はい]をタッチ。

7 「完了しました」と表示されたらOKをタッチ。

初期化が完了すると、DVD-RW/DVD+RWも撮影を始められます。

- 初期化中にバッテリーやACアダプターなどの電源を取り外さないでください。

ディスクを取り出すには

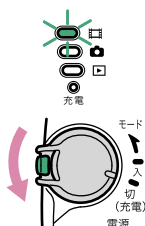
手順**1**~**2**を行ってディスクカバーを開き、ディスクを取り出す。
ディスクの状態や記録内容によっては、取り出しに時間がかかることがあります。ディスクに傷がついていたり、指紋などで汚れている場合は、取り出しに最大30分程度かかることがあります。

- アクセスランプの点灯中や点滅中、または[ディスク認識中]/[取り出し準備中]と表示されているときは、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。
- ディスクが正しく取り付けられていない状態でディスクカバーを閉じると故障の原因となります。
- ディスクの認識後、ディスクタイトルや使用開始日時、記録済みエリアなどのディスクに関する情報が約8秒間表示されます。記録済みエリアの情報は、ディスクの状態によっては正しく表示されないことがあります。
- DVD-RW/DVD+RWで、過去に記録した内容をすべて削除し、新たにディスクに記録するには、「ディスクの画像をすべて削除する（初期化）」（49ページ）をご覧ください。

準備8：撮影する画像の比率（ワイド/4：3）を選ぶ

ワイド（16:9）で撮影すると、広角、高画質の画像を楽しむことができます。

- ワイドテレビで楽しみたいときは、ワイドで撮影することをおすすめします。

1 電源スイッチを繰り返し下にずらして 🎞（動画）ランプを点灯させる。

2 ワイド切換ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。

ワイド（16:9）*

4:3*

*液晶画面で見たとき。ファインダーでは見えかたが異なります。

- 以下の場合は、画像の比率を切り換えることはできません。
  - 電源スイッチが 📷（静止画）のとき
  - 動画を撮影中
  - ［オールドムービー］（60ページ）に設定しているとき
- 4:3と16:9での画角の差は、ズームの位置によって異なります。
- DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWでは、以下の場合に撮影可能時間が短くなることがあります。
  - ワイドと4:3を切り換えて撮影したとき
  - 4:3に設定中に、［録画モード］（62ページ）を切り換えたとき。

本機をTVにつないで見るときは

ご覧になるTV（16:9/4:3）にあわせて、セットアップ項目の［TVタイプ］で画像の比率を設定してください（40ページ）。

- ワイドの画像を［TVタイプ］を［4:3］にして見ると、被写体によっては画像が粗く見える場合があります。

ディスクを本機から取り出して、DVDプレーヤー/DVDレコーダーで見るときは

再生する機器によっては、画像の見えかたが異なる場合があります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

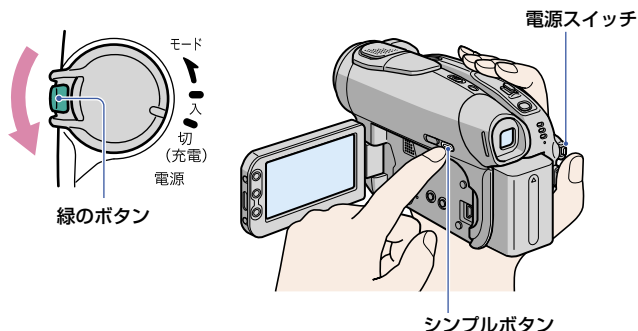
- DVD+RWの場合、ワイドで撮影した画像を再生すると、横方向を圧縮した縦長の画像になることがあります（45ページ）。

シンプル操作に設定する

シンプル操作では、ほとんどの設定を自動化するので、自分で細かい操作をする必要がありません。
また、主な機能だけを使えるようになり、液晶画面上の文字も大きく表示されて見やすくなるので、初めてお使いになるときでも、より簡単に操作することができます。
あらかじめ準備1～8（14～24ページ）を行っておいてください。

- シンプル操作中に新しいDVD-RWを入れると、VIDEOモードで初期化されます。
- DVD-RWがすでにVRモードで初期化されている場合、シンプル操作中は本機での編集（68ページ）ができません。

シンプル操作をしないときは、30ページに進んでください。

1 緑のボタンを押しながら電源スイッチを矢印の方向へずらして、本機の電源を入れる。

2 シンプルボタンを押す。

シンプル操作に設定しました

早速撮影してみましょう。

シンプル操作を解除するには

もう1度シンプルボタンを押す。
シンプルボタンが消灯します。

- シンプルボタンを解除せずに電源を切ると、次に電源を入れたときもシンプル操作に設定されています。

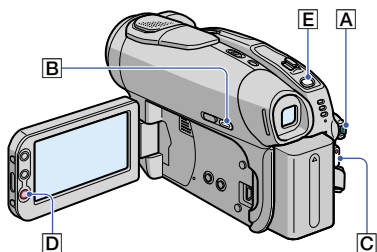
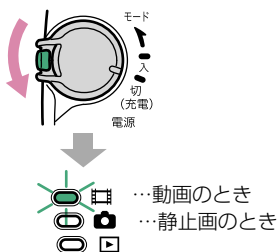
シンプル操作に設定中は

- 一部のボタンやスイッチ、セットアップ項目が使えなくなります（26、27、52ページ）。
- シンプル操作中に使えない操作をすると、［シンプル操作中は無効です］と表示されます。

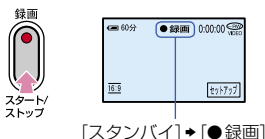
かんたんに撮る

シンプル操作に設定中は、動画の[録画モード]、静止画の[画質]/[画像サイズ]は、お買い上げ時の設定で記録されます（58、62ページ）。

1 電源スイッチ A を繰り返し下にずらして、（動画）または（静止画）ランプを点灯させる。

シンプルボタン B が消灯しているときは、シンプル操作に設定します（25ページ）。

2 撮影を始める。

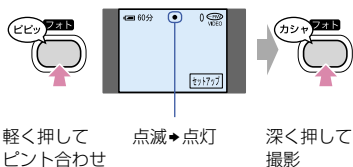
動画のとき

録画スタート/ストップボタン C（または D）を押す。

[スタンバイ]➡[●録画]

撮影を止めるときは、録画スタート/ストップボタンをもう1度押す。

静止画のとき

フォトボタン E を押す。

軽く押して ピント合わせ　点滅➡点灯　深く押して 撮影

「カシャ」と鳴り、IIIIが消えると記録される。

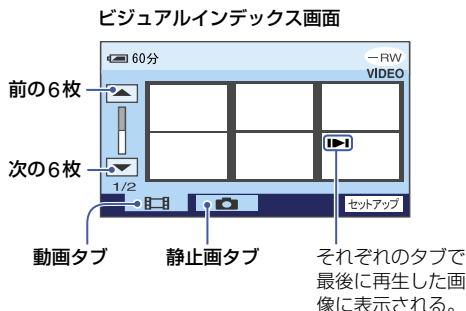
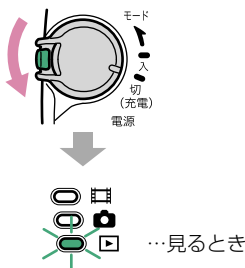
次の画像を撮影するには

手順**2**を行う。

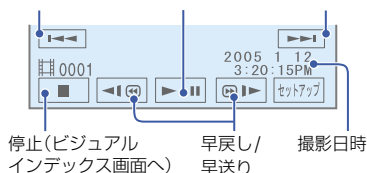
- ファイナライズ（28ページ）前で、ディスクに記録容量が残っていれば、以下の場合でも引き続き撮影できます。
  - －いったん電源を切った後、もう1度入れたとき
  - －本機からディスクを取り出した後、もう1度入れたとき
- シンプル操作で撮影中は、以下の操作はできません。
  - －逆光補正（33ページ）
  - －液晶画面バックライトの切り換え（19ページ）
  - －レビュー/レビュー削除（36ページ）

かんたんに見る

1 電源スイッチ A を繰り返し下にずらして、▶（見る/編集）ランプを点灯させる。

液晶画面にはビジュアルインデックス画面が表示されます。
シンプルボタン B が消灯しているときは、シンプル操作に設定します（25ページ）。

2 再生を始める。

動画のとき

動画タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

選んだ画像が最後まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。

静止画のとき

静止画タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

- 一時停止中に ◀I/I▶ をタッチするとスロー再生が始まります。
- I▶I のついた動画をタッチすると、前回途中で止めた位置から再生されます。
  新たに画像を撮影すると、最後に撮影した画像に表示されます。
- シンプル操作で再生中は、以下の操作はできません。
  − 再生ズーム（34ページ）
  − 液晶画面バックライトの切り換え（19ページ）

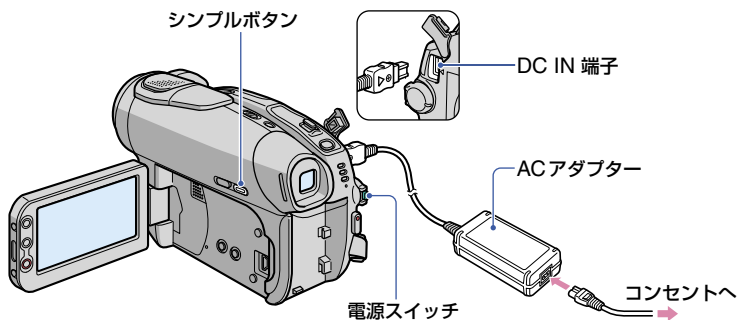
DVDプレーヤーなどで見るための操作(ファイナライズ)

シンプル操作では、以下のことを本機が自動で設定するため、ファイナライズがかんたんに行えます。

－ DVDプレーヤーなどで画像を一覧表示できるDVDメニューを作成する（42ページ）
－ DVDプレーヤーなどで静止画を再生できるフォトムービーを作成する（43ページ）

DVDメニューやフォトムービーをお好みの設定にしたい場合は、シンプル操作を解除してからファイナライズを行ってください（41ページ）。

- **DVD-Rは1度ファイナライズすると、ディスクの記録容量が残っていても再利用や追加記録はできなくなります。**
- **DVD-RW（VIDEOモード）/DVD＋RWは、ファイナライズするとシンプル操作での追加記録はできなくなります。シンプル操作を解除して、48ページの操作を行ってください。**

1 本機を安定したところに置き、ACアダプターをDC IN端子とコンセントにつなぐ。

- ファイナライズ中に電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。

2 本機の電源を入れ、シンプルボタンが点灯していることを確認する。

シンプルボタンが消灯しているときは、シンプル操作に設定します（25ページ）。

3 ファイナライズしたいディスクを入れる。

詳しくは22ページの「準備7：ディスクを入れる」をご覧ください。

4 液晶画面の表示を、順にタッチ。

- ファイナライズ中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ディスクの内容によっては、ファイナライズに時間がかかります。

5 ディスクを本機から取り出す。

DVDプレーヤーなどで再生をお楽しみください。
再生機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

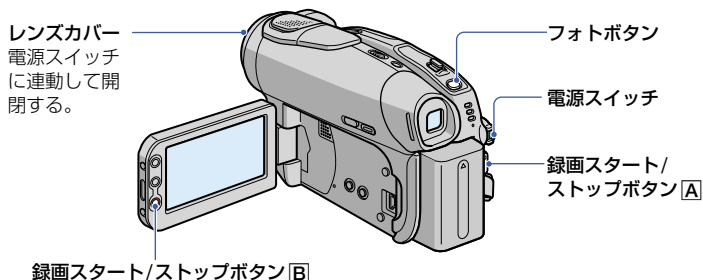
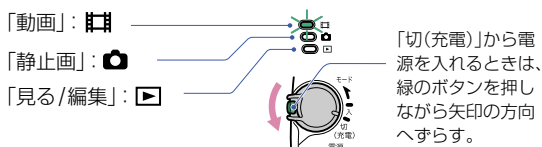
再生後、記録した画像をすべて削除する(初期化)(DVD-RW：VIDEOモード/DVD+RWのみ)

初期化するとディスクの記録容量が元に戻り、次の撮影に再利用できます。
DVD-RW(VRモード)で再利用したいときは、シンプル操作を解除して初期化を行ってください(49ページ)。

- **いったん削除した画像は、元に戻せません。ご注意ください。**

液晶画面の表示を、順にタッチ。

① [セットアップ]
② [初期化]
③ [はい]
④ [はい]
⑤ [OK]

撮る

1 **電源スイッチを繰り返し下にずらして、ランプを点灯させる。**

2 **撮影を始める。**

動画のとき

録画スタート/ストップボタン A（または B）を押す。

［スタンバイ］→［●録画］

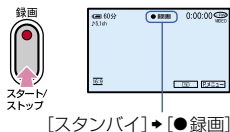
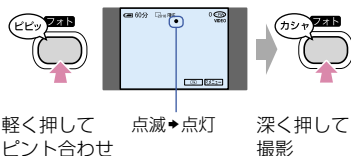
撮影を止めるときは、録画スタート/ストップボタンをもう1度押す。

静止画のとき

フォトボタンを押す。

軽く押してピント合わせ

点滅→点灯

深く押して撮影

「カシャ」と鳴り、IIIIが消えると記録される。

撮影した動画や静止画を確認/削除する（レビュー/レビュー削除）

36ページをご覧ください。

次の動画/静止画を撮影する

手順**2**を行う。

1度ディスクを取り出したり、電源を切っても、ディスクの記録容量が残っていれば引き続き撮影できます。

見る

1 電源スイッチを繰り返し下にずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。

液晶画面にビジュアルインデックス画面が表示される。

2 再生を始める。

静止画のとき

動画タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

選んだ画像が最後まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。

静止画タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

- 一時停止中に ◀I⏪/⏩I▶ をタッチするとスロー再生が始まります。
- 早戻し/早送りボタンは1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速(DVD+RWの場合は約8倍速)で動作します。
- I▶Iのついた動画をタッチすると、前回途中で止めた位置から再生されます。
  新たに画像を撮影すると、最後に撮影した画像に表示されます。

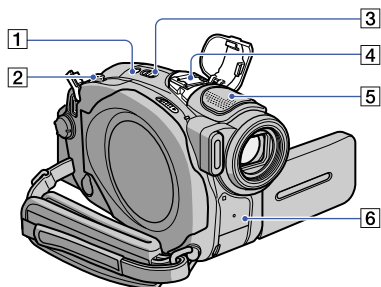
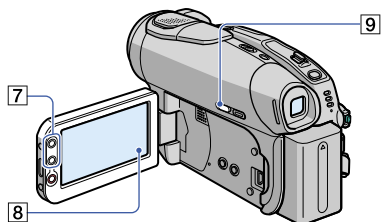
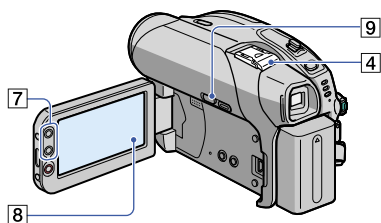
動画の音量を調節する

P.メニュー→[音量]をタッチし、－/＋をタッチして調節する。

- P.メニューで見つからないときは[セットアップ]から選びます(50ページ)。

ディスクを取り出して他のDVD機器で見る

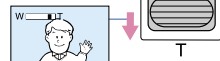
41ページをご覧ください。

撮る/見るときに使う機能など

DCR-DVD403:

DCR-DVD203:

撮るとき

ズームする 2 7

ズームレバー 2 を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

広角：Wide
（ワイド）

望遠：Telephoto
（テレフォト）

- ズームレバー 2 から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録される場合があります。
- 液晶画面横のズームボタン 7 では、ズームする速さを変えることはできません。
- ピントを合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 以下の倍率を越えたときに、[デジタルズーム]（57ページ）できます。
  DCR-DVD203：12倍
  DCR-DVD403：10倍

臨場感のある音で記録する（5.1chサラウンド記録）............ 4 5

DOLBY DIGITAL 5.1 CREATOR

本機では、ドルビーデジタル5.1クリエーター＊の搭載により、4chマイクで取り込んだ音声を5.1chサラウンド音声＊＊に変換して記録できます。5.1chサラウンドに対応した機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。
DCR-DVD403は、内蔵の4chマイク 5、または別売りのマイクロフォン（ECM-HQP1）をアクティブインターフェースシュー 4 に取り付けて記録します。
DCR-DVD203は、別売りのマイクロフォン（ECM-HQP1）をアクティブインターフェースシュー 4 に取り付けます。
詳しくは、[サラウンド外部マイク設定]（62ページ）、またはマイクロフォンの取扱説明書をご覧ください。

- 5.1ch記録/再生時には、画面に♪5.1chが表示されます。本機で5.1ch音声を再生すると、2chに変換されて出力されます。

* ドルビーデジタル5.1クリエーターは、高音質を維持したまま、音声を効率的に圧縮します。ディスクのスペースを効率的に使いながら、5.1chサラウンド音声が作成できます。
またドルビーデジタル5.1クリエーターで作成されたディスクは、本機のディスクと互換性のあるDVDレコーダー/DVDプレーヤーで再生できます。5.1chサラウンドシステム(ホームシアターシステムなど)をお持ちの場合、より迫力のある音を楽しめます。

** 5.1chサラウンド音声は、フロント側(左/右/センター)、リア側(左/右)の5chと、120Hz以下の低域を専門とするサブウーファー0.1chを加えた6つのスピーカーで音を再生します。サブウーファーは再生帯域が狭いことから、0.1chと称されます。左右の音の動きを表現するステレオ音声に比べて、立体的で臨場感ある音を再現します。

フラッシュを使う 1 4

⚡(フラッシュ) 1 ボタンを繰り返し押して、お好みの設定を選ぶ(DCR-DVD403)。
別売りのフラッシュはアクティブインターフェースシュー 4 に取り付けて使えます。
詳しくは、[フラッシュ設定](56ページ)、またはフラッシュの取扱説明書をご覧ください。

表示なし(自動調節):撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。
↓
⚡**(強制発光)**:周囲の明るさに関係なく、常に発光する。
↓
(発光禁止):常に発光しない。

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3m ～ 2.5mです。
- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどしてフラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- フラッシュランプはフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。
- 逆光時など明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- コンバージョンレンズ(別売り)を付けていると、コンバージョンレンズの影が映ることがあります。
- [フラッシュ設定]の[フラッシュレベル]で発光量を手動で変えたり、[フラッシュモード](DCR-DVD203)や[赤目軽減](DCR-DVD403)で目が赤く写るのを抑制したりできます(56ページ)。

暗い場所で撮る(NightShot(DCR-DVD403)/NightShot plus(DCR-DVD203)) 3

NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチ 3 を「入」にする。(◉と["NIGHTSHOT"]または["NIGHTSHOT PLUS"]が表示される。)

- さらに高感度で撮影するには Super NightShot(DCR-DVD403)/Super NightShot Plus(DCR-DVD203)(56ページ)、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter(57ページ)が使えます。
- NightShot/NightShot plusとSuper NightShot/Super NightShot Plusは赤外線を利用するため、赤外線発光部 6 を指などで覆わないでください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ([フォーカス]、55ページ)してください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

逆光を補正する............................. 9

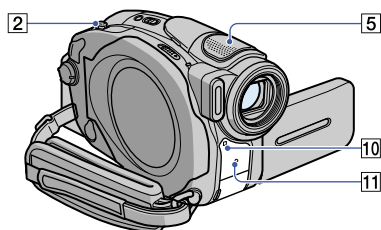
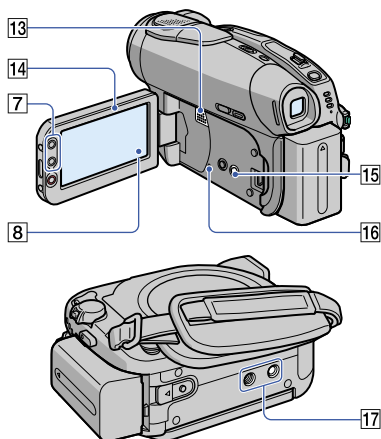
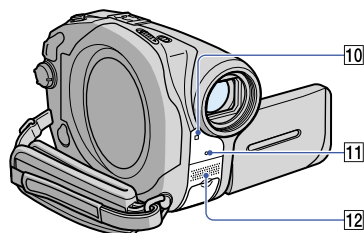
逆光補正ボタン 9 を押すと☒が表示されて補正される。解除するにはもう1度押す。

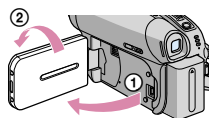
画面中央にない被写体にピントを合わせる 8

[スポットフォーカス]をご覧ください(55ページ)。

被写体を基準に明るさ調節する....... 8

[スポット測光]をご覧ください(54ページ)。

DCR-DVD403:

DCR-DVD203:

自分撮り（対面撮影）する 14

液晶画面 14 を90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回す（②）。

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

画像に演出を加えて撮る 8

ピクチャーアプリをご覧ください（59ページ）。

三脚を使って撮る 17

三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴 17 に取り付けます。

見るとき

静止画を連続再生する 8

［スライドショー］をご覧ください（60ページ）。

再生ズームする 2 7

画像を1.1～5倍の範囲でズームできます。倍率はズームレバー 2 または液晶画面横のズームボタン 7 で調整できます。

① 拡大したい画像を表示する

② T（望遠）で画像を拡大する。
画面に枠が表示されます。

③ 画面中央に表示したい部分をタッチ。
タッチした部分が画面中央に移動します。

④ W（広角）/ T（望遠）で画像の大きさを調節する。

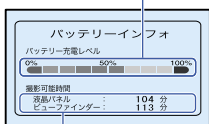
終了するには、［終了］をタッチする。

- 液晶画面横のズームボタン 7 ではズームする速さを変えることはできません。

撮る/見る共通

バッテリーの残量を確認する 15

電源を「切（充電）」にした後、画面表示/バッテリーインフォボタン 15 を押すと、バッテリーの情報が約7秒間、押し続けると約20秒間表示される。

およそのバッテリー残量

およその撮影可能時間

操作音を消す 8

［おしらせブザー］（64ページ）で設定できます。

お買い上げ時の設定に戻す 16

RESET（リセット）ボタン 16 を押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。（パーソナルメニューに設定した内容は解除されません。）

その他の部分の名前とはたらき

5 内蔵4chマイク（DCR-DVD403）

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

12 内蔵ステレオマイク（DCR-DVD203）

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

10 リモコン受光部

リモコン（39ページ）は、リモコン受光部に向けて操作します。

11 録画ランプ

録画時に赤く点灯します（64ページ）。

13 スピーカー

再生時の音声が聞けます。

• 音量調節については、31ページをご覧ください。

撮影した画像を確認/削除する（レビュー/レビュー削除）

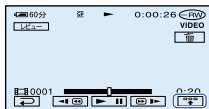
動画/静止画の、それぞれ直前に撮影した画像を確認/削除できます。
ただし、次の場合は削除できません。

– ディスクを取り出したとき
– 新たに動画、または静止画を撮影したとき

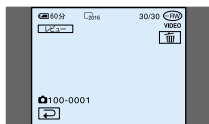
撮影した画像を確認する（レビュー）

1 電源スイッチを （動画）または （静止画）にして、 をタッチ。

直前に撮影した画像が再生されます。

動画

タッチすると、以下の操作ボタンが表示されます。

：再生している動画の先頭に戻る
 / ：音量を調節する

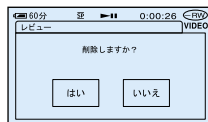
静止画

撮影画面に戻るには

をタッチ。

- データコードは表示できません。
- 静止画の連写をした場合は、 / で前後の画像を見られます。

撮影した画像を削除する（レビュー削除）（DVD-RW/DVD+RWのみ）

レビューで確認した画像が不要なときは、その場で削除できます。
DVD-Rでは削除できません。

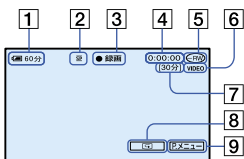
1 レビュー再生中に をタッチ。

2 [はい]をタッチ。

- いったん削除した画像は元に戻せません。

- 最後に撮影した画像のみ削除できます。以下の場合は、 が灰色に表示され、削除できません。
  – 最後に撮影された画像がすでに削除されている
  – 再生中の画像より後に撮影された動画または静止画がある
- 静止画の連写（58ページ）をした場合、レビュー削除をすると連写した画像すべてが削除されます。DVD-RW（VRモード）の場合、編集機能を使って、連写した静止画の中から指定した画像のみを削除できます（68ページ）。

撮る/見るときの画面表示

( )内は参照ページ。
撮影中の画面表示は録画されません。

動画を撮影中

1 バッテリー残量表示(35)

2 録画モード(HQ / SP / LP)(62)

3 撮影状態([スタンバイ]/[●録画])

4 カウンター (時:分:秒)

5 ディスクの種類(11)

6 記録フォーマット(DVD-RWのみ)(11)

7 ディスク残量の目安(64)

8 レビューボタン(36)
最後に撮影した画像が表示される。[↩]をタッチするとスタンバイに戻る。

9 パーソナルメニューボタン(50)

静止画を撮影中

10 画像サイズ(58)
(2016 2016X1512 (DCR-DVD403)/1152 1152X864 (DCR-DVD203)、または640 640X480)

11 画質([FINE])または([STD])(58)

12 撮影済枚数

13 ディスク残量の目安(64)

14 レビューボタン(36)
最後に撮影した画像が表示される。[↩]をタッチするとスタンバイに戻る。

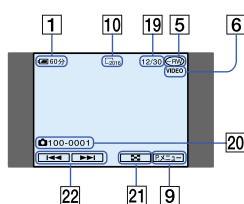
動画を再生中

15 ディスク再生表示

16 前の画像/次の画像ボタン(27、31)

17 シーン番号

18 動画操作ボタン(27、31)

静止画を再生中

19 現在の枚数/撮影済み枚数

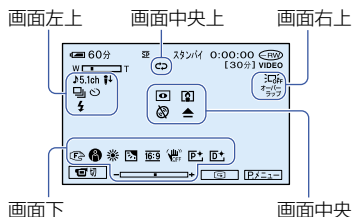
20 データファイル名

21 ビジュアルインデックス表示ボタン(27、31)

22 前の画像/次の画像ボタン(27、31)

次のページへつづく ➡

液晶画面とファインダーの表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに以下の表示が出ます。

画面左上

表示	意味
♪5.1ch	5.1chサラウンド記録/再生(32)
	セルフタイマー撮影(57)
BRK	連写/ブラケット撮影(58)
	フラッシュ (56)
	マイク基準レベル低(62)

画面中央上

表示	意味
	スライドショー繰り返し設定(60)

画面右上

表示	意味
ホワイトフェーダー　ブラックフェーダー オーバーラップ　ワイプ	フェーダー (59)
OFF	液晶バックライト切(19)

画面中央

表示	意味
	NightShot/NightShot plus (33)
S	Super NightShot/Super NightShot Plus (56)
	Color Slow Shutter (57)
	警告(96)

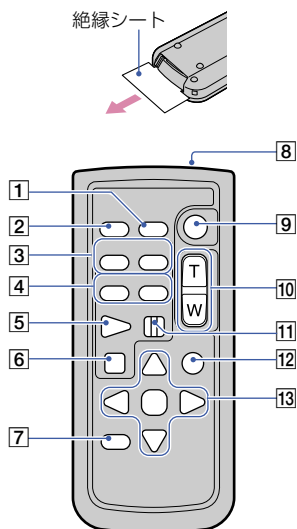
画面下

表示	意味
	ピクチャーエフェクト(60)
	デジタルエフェクト(60)
	手動フォーカス(55)
	プログラムAE(54)
	逆光補正(33)
	ホワイトバランス(55)
16:9	ワイド切換(24)
OFF	手ぶれ補正(57)
	フレキシブルスポット測光/カメラ明るさ(54)

撮影時のデータについて

撮影日付時刻データと撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に[データコード]として確認できます(63ページ)。

リモコンで使う

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

1 データコードボタン(63ページ)

2 フォトボタン(26、30ページ)

押したときの画像が静止画として記録される。

3 スキャン/スローボタン(27、31ページ)

4 ⏮ ⏭ (前の画像/次の画像)ボタン(27、31ページ)

5 再生ボタン(27、31ページ)

6 停止ボタン(27、31ページ)

7 画面表示ボタン(20ページ)

8 リモコン発光部

9 スタート/ストップボタン(26、30ページ)

10 ズームボタン(32、34ページ)

11 一時停止ボタン(27、31ページ)

12 ビジュアルインデックスボタン(27、31ページ)

再生中に押すと、ビジュアルインデックス画面を表示する。

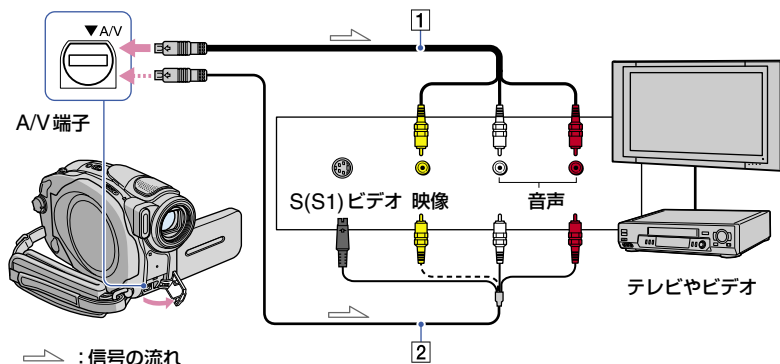
13 ◀/▶/▲/▼/ 決定ボタン

いずれかのボタンを押すと、本機の画面にオレンジ色の枠が表示されます。◀/▶/▲/▼で画面上の希望のボタンまたは項目を選び、決定ボタンを押します。

一定時間リモコンからの操作がないと、オレンジ色の枠は消えます。再び◀/▶/▲/▼または決定ボタンのいずれかを押すと、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。

- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください(35ページ)。
- 電池交換については、104ページをご覧ください。

テレビにつないで見る

電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（15ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **AV接続ケーブル（付属）**
他機の入力端子につなぎます。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）**
S（またはS1）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ビデオをテレビにつないでいるときは

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオの入力を「外部入力（ライン）」に切り換える。

テレビ（ワイド/4：3）に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて再生時の画像サイズの設定をしてください。

① 本機の電源スイッチを ▶（見る/編集）にする。

② P.メニュー→［セットアップ］→ 基本設定→［TVタイプ］→［16:9］または［4:3］→ OK をタッチ。

- ID-1/ID-2対応テレビやテレビのS（S1）映像入力端子につないで再生する場合、［TVタイプ］を［16:9］に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り換わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ［TVタイプ］を［4:3］に設定したときは、画質が下がることがあります。また、ワイドと4:3の映像が切り換わるとき、画面が乱れることがあります。
- ワイド画像をワイド信号非対応の4：3テレビでご覧になるときは、［TVタイプ］を［4:3］に設定してください。

モノラルテレビ（音声端子がひとつ）のときは

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）か赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声入力へつなぐ。

- ［画面表示出力］を［ビデオ出力/パネル］に設定すると、テレビ画面でカウンターなどの情報を見ることができます（65ページ）。

DVDプレーヤーやDVDドライブで見られるようにする（ファイナライズ）

ファイナライズとは、画像を記録したディスクを、他のDVD機器（DVDプレーヤー/DVDレコーダーなど）やパソコンのDVDドライブで再生できるように互換処理をすることです。ディスクの種類によってファイナライズのしかたが異なります。

- **すべての機器での再生を保証するものではありません。**

	ファイナライズが必要です。
	1度ファイナライズすると、ディスクの記録容量が残っていても追加記録できなくなります。
	ファイナライズが必要です。
	ファイナライズ後は、ファイナライズ解除（48ページ）すると、本機で引き続き追加記録ができます。追加記録後に他のDVD機器で再生するには、再度ファイナライズが必要です。
	ファイナライズが必要です。 ファイナライズすると、VRモードに対応したDVD機器で再生できます。
	ファイナライズ後は、本機でいつでも追加記録ができ、追加記録後に再度ファイナライズする必要はありません。
	ファイナライズせずに他のDVD機器などで再生できます。ただし次の場合はファイナライズが必要です。 • DVDメニュー（42ページ）を作成したいとき • フォトムービー（43ページ）を作成したいとき • パソコンのDVDドライブで再生したいとき • 録画時間が短いとき HQモード：約5分以下 SPモード：約8分以下 LPモード：約15分以下
	DVDメニュー/フォトムービーを作成した場合は、追加記録するときに確認画面が表示され、DVDメニュー/フォトムービーは削除されます。追加記録後にDVDメニュー/フォトムービーを作成したいときは再度ファイナライズが必要です。

次のページへつづく ➡

ファイナライズの操作の流れ

以下の順序で操作します。

• **ファイナライズにかかる時間は約1分〜最大数時間です。ディスクの記録容量が少ないほど（録画時間が短いほど）、かかる時間は長くなります。**
• **途中で電源が切れないように、必ずACアダプターから電源を使ってください。**
• 両面ディスクの場合は、ファイナライズは各面で行ってください。

操作1：ファイナライズの準備をする（42ページ）

操作2：DVDメニューを設定する＊（42ページ）
設定すると、他のDVD機器などで画像を一覧表示できるメニュー画面を作成します。

操作3：フォトムービーを設定する＊（43ページ）
設定すると、ディスクに記録した静止画を他のDVD機器などで再生できるフォトムービーを作成します。

操作4：ディスクタイトルを変更する（43ページ）
ディスクにタイトル（名前）をつけられます。変更する前は、ディスクの使用開始日時がディスクタイトルとして表示されています。

操作5：ファイナライズする（44ページ）

＊ DVD-RW（VRモード）では行えません。

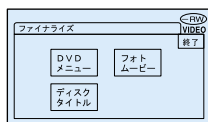
操作1：ファイナライズの準備をする

1 **本機を安定したところに置き、ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。**

2 **電源スイッチを下にずらして、電源を入れる。**

3 **ファイナライズしたいディスクを入れる。**

4 **P.メニュー→［ファイナライズ］→［設定］をタッチ。**

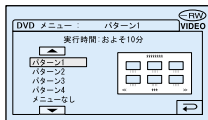
ファイナライズ設定画面が表示されます。

操作2：DVDメニューを設定する

DVDメニューとは

DVDプレーヤーなどで再生するときに、見たいシーンをすぐに選べるように表示させるメニュー画面のことです。本機でDVDメニューを作成すると、各場面の冒頭が日付入りで表示されます。

• DVD-RW（VRモード）ではDVDメニューを作成できません。

1 [DVDメニュー]をタッチ。

2 [▲]/[▼]で4種類の中から好みのパターンを選ぶ。

DVDメニューを作成しないときは、[メニューなし]を選ぶ。

3 [OK]をタッチ。

操作3：フォトムービーを設定する

フォトムービーとは

ディスク内の静止画(JPEG形式)をディスクに残したまま、他のDVD機器やパソコンで再生できるように、動画(MPEG形式)に変換して新たに保存することです。フォトムービーに変換された静止画は、スライドショーのように連続再生されます。ただし、解像度は多少下がります。

- フォトムービーを作成すると、ファイナライズにかかる時間が長くなります。ディスクに記録した静止画が多いほど、時間がかかります。
- 静止画(JPEG方式)は、フォトムービーを作成しなくても、パソコンで表示できます(46ページ)。
- DVD-RW(VRモード)は、ここではフォトムービーを作成できません。「すべての静止画を1つの動画に変換する(フォトムービー)」で作成してください(72ページ)。

1 [フォトムービー]をタッチ。

2 [作成する]をタッチ。

フォトムービーを作成しないときは、[作成しない]を選ぶ。

3 [OK]をタッチ。

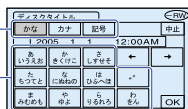
操作4：ディスクタイトルを変更する

タイトルを変更しないときは、「操作5：ファイナライズする」(44ページ)にすすんでください。

1 [ディスクタイトル]をタッチ。

2 [←]をタッチし、不要なタイトル文字を消す。

黄色のカーソルが動いて、後ろの文字から消去されます。

3 文字の種類を選び、入力したい文字が表示されるまで文字列を繰り返しタッチ。

文字を消すとき：[←]をタッチ。
空白を入れるとき：[→]をタッチ。
小さいひらがなを入れるとき：
該当する文字列を繰り返しタッチ。

(例)「っ」を入れるときは、「た」の文字列を繰り返しタッチ。

DVDプレーヤーやDVDドライブで見る

4 1文字入力するごとに[→]をタッチして、次の文字を入力する。

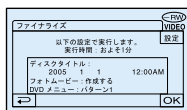
• タイトルは最大20文字入力できます。

5 入力が完了したら[OK]をタッチ。

6 [終了]をタッチ。

• 漢字変換機能はありません。[記号]にある漢字以外はタイトルに入力できません。
• パソコンなど他の機器でタイトルを作成した場合、本機でタイトルを編集すると21文字目以降は消去されます。

操作5：ファイナライズする

1 操作2～4で設定した内容を、画面で確認する。

2 [OK]をタッチ。

3 [はい]→[はい]をタッチ。

ファイナライズが始まります。

• ファイナライズ中は、本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。

やむを得ずACアダプターを抜くときは、本機の電源を切り、電源/充電ランプが消えてから抜いてください。

再度ACアダプターを接続して電源を入れるとファイナライズが再開されます。この場合、ファイナライズが完了するまでディスクを取り出せません。

4 [完了しました]と表示されたら[OK]をタッチ。

DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWでは、電源スイッチを（動画）または（静止画）にしていると、ファイナライズ完了後 ⏏が点滅します。ディスクを取り出してください。

• DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWで、DVDメニューを作成する設定にした場合は、ファイナライズ中にDVDメニュー画面が一時的に表示されます。
• DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）では本機でフォトムービーを再生できません。
• ファイナライズ後はディスク表示/記録フォーマット表示が次のように変わります。

DVD-R	-R
DVD-RW（VIDEOモード）	-RW VIDEO
DVD-RW（VRモード）	-RW VR
DVD+RW	+RW

DVDプレーヤーなどで見る

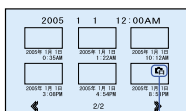
- 8cmCD用のアダプターを使わないでください。故障の原因になります。
- 縦置きのDVD機器は、ディスクが水平になるように設置して再生してください。

1 ディスクをDVD機器に入れる。

2 ディスクを再生する。

DVD機器によって再生操作は異なります。お使いの機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

DVDメニューを作成したときは（DVD-R/DVD-RW:VIDEOモード/DVD+RW）

メニュー画面で、見たい画像を選べます。フォトムービーは、動画の後に表示されます。

フォトムービー画像に表示されます。

- DVD機器によって、再生できなかったり、場面のつなぎ目で画像が一時停止したり、一部の機能が使えなかったりする場合があります。
- フォトムービーは約3秒ごとに画像が切り換わります。

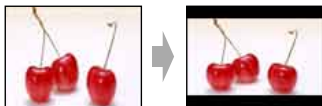
DVD+RWの画像を正しい比率で見るには

DVD+RWにワイド（16：9、24ページ）で撮影した画像を、DVDプレーヤーなどで再生すると、横方向を圧縮した縦長の画像（スクイーズ）になることがあります。この場合は、正しい縦横比で見るために以下の設定をしてください。

■ 16：9テレビの場合

テレビの設定*やリモコンで、「ワイド切替」を「フル」に設定してください。

スクイーズ

■ 4：3テレビの場合

スクイーズ

ワイド（16：9）表示機能*があるテレビの場合

テレビの設定*やリモコンで、ワイド（16：9）表示を選択し、テレビ画面の表示を切り替えてください。

ワイド（16：9）表示機能*がないテレビの場合

本機を付属のAV接続ケーブルでテレビと接続し（40ページ）、本機の液晶画面で[P.メニュー]→[セットアップ]→[基本設定]の順にタッチし、[TVタイプ]を[4:3]に設定してください。

* テレビの機能や設定について詳しくは、お使いテレビの取扱説明書でご確認ください。

パソコンのDVDドライブで見る

- **8cmCD用のアダプターを使わないでください。故障の原因になります。**
- **DVD+RWをお使いの場合でも、必ずファイナライズを行ってください。ファイナライズせずにディスクを再生すると、故障の原因になります。**

パソコンのDVDドライブで動画を再生する

パソコンのDVDドライブが8cmDVD対応で、パソコン本体にDVD再生ソフトウェアがインストールされている必要があります。

1 ファイナライズ済みのディスクをDVDドライブに入れる。

2 DVD再生ソフトウェアを使って再生する。

- パソコンによっては、ディスクを再生できないことがあります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクに記録されている動画ファイルを、パソコンへ直接コピーして再生や編集をすることはできません。画像の取り込み方法については、CD-ROM(付属)の「ファーストステップガイド」をご覧ください。

パソコンのDVDドライブで静止画を再生する

ディスク内の静止画(JPEG形式)をそのまま表示します。ディスクに記録したデータを直接操作するため、誤って消去したり、変更したりしないようにしてください。

1 ファイナライズ済みのディスクをDVDドライブに入れる。

2 [スタート]→[マイコンピュータ]の順にクリックする。

または、デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする。

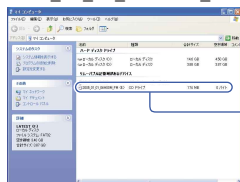
3 ディスクを入れたDVDドライブを右クリックし、[開く]をクリックする。

4 [DCIM]→[100MSDCF]の順にダブルクリックする。

5 見たい静止画をダブルクリックする。

選んだ静止画が表示されます。

ディスクのボリュームラベルには、ディスク使用開始日時が記入されます。

<例>
2005年1月1日午後6時に使用を開始した場合のボリュームラベル：
2005_01_01_06H00M_PM

ディスク内の画像は、以下のフォルダに保存されています。

■ 動画の保存先

DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/ DVD+RWの場合：
VIDEO_TSフォルダ

DVD-RW（VRモード）の場合：
DVD_RTAVフォルダ

■ 静止画の保存先

DCIM ￥100MSDCFフォルダ

<例>
DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWの保存先
（WindowsXPの場合）：

ファイナライズ後に本機で追加記録する

DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWは、ディスクの記録容量がまだ残っている状態でファイナライズした場合、以下の操作を行えば、引き続き追加記録ができます。
DVD-RW（VRモード）は、そのまま追加記録できます。

- 途中で電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。
- 操作中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。
- ファイナライズで作成したDVDメニューとフォトムービーは削除されます。
- 両面ディスクの場合は、各面で以下の操作を行ってください。

DVD-RW（VIDEOモード）のとき（ファイナライズ解除）

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。

3 ファイナライズ済みのディスクを入れる。

4 P.メニュー→[セットアップ]をタッチ。

5 ディスク設定→[ファイナライズ解除]をタッチ。

6 [はい]→[はい]をタッチ、[完了しました]と表示されたらOKをタッチ。

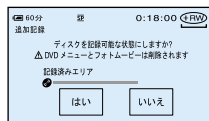
DVD+RWのとき

ファイナライズでDVDメニュー（42ページ）やフォトムービー（43ページ）を作成した場合は、追加記録をする前に以下の操作が必要です。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 電源スイッチを繰り返し下にずらして、（動画）または（静止画）ランプを点灯させる。

3 ファイナライズ済みのディスクを入れる。

追加記録の確認画面が表示されます。

4 [はい]→[はい]をタッチ。

[完了しました]と表示され、撮影画面に戻ります。

ディスクの画像をすべて削除する（初期化）

記録した画像をすべて削除してディスクの記録容量を元に戻し、再び書き込み可能にすることを「初期化」といいます。
ディスクの種類によって初期化のしかたが異なります。

	初期化できません。新しいディスクと取り換えてください。
	初期化して再利用できます。
	ディスクをファイナライズしている場合、初期化するとファイナライズは解除されます。
	初期化して再利用できます。
	ディスクをファイナライズしている場合、ファイナライズの処理記録だけは残ります。
	初期化して再利用できます。
	ディスクをファイナライズしている場合、ファイナライズの処理記録だけは残ります。

- 途中で電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。
- 初期化中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。
- 両面ディスクの場合は、各面で初期化を行ってください。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

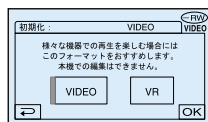
2 電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。

3 初期化したいディスクを入れる。

4 P.メニュー→［初期化］をタッチ。

■DVD-RWのとき：
記録フォーマットを選び、初期化します。手順**5**に進んでください。
■DVD+RWのとき：
初期化画面が表示されます。手順**6**に進んでください。

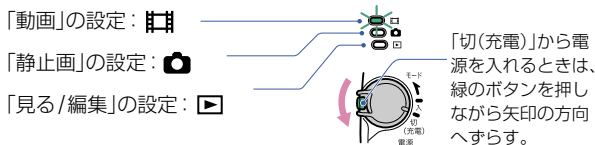
5 DVD-RWの記録フォーマットを選び、OKをタッチ。

記録フォーマットについて詳しくは、11ページをご覧ください。

6 ［はい］→［はい］をタッチ、［完了しました］と表示されたらOKをタッチ。

- シンプル操作（25ページ）に設定中は、DVD-RWを入れても手順**5**は表示されません。手順**6**に進んでください。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけたディスクは初期化できません。プロテクトをかけた機器でプロテクトを解除してから初期化してください。

セットアップ項目の使いかた

このページ以降のセットアップ項目は、下記の方法で操作してください。

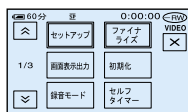
1 電源スイッチを繰り返し下にずらし、ランプを点灯させる。

2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

灰色に表示されるセットアップ項目は、使用できません。

■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うセットアップ項目へのショートカットが登録されています。

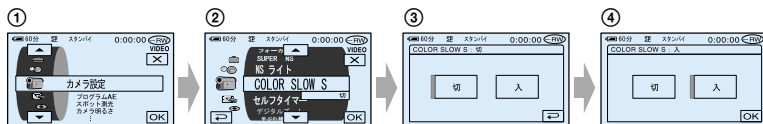
• パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます（66ページ）。

① P.メニューをタッチする。

② 希望のセットアップ項目をタッチする。

画面にないときは、[⌃]/[⌄]をタッチして表示させる。

③ 希望の設定にし、OKをタッチする。

■ セットアップ項目を使うときは

パーソナルメニューに登録されていないセットアップ項目も設定できます。

① P.メニュー→[セットアップ]をタッチする。

② 設定するセットアップ項目を選ぶ。

▲/▼をタッチして選び、OKをタッチして決定する。(手順③も同様の操作です。)

③ 設定する項目を選ぶ。

- 設定する項目をタッチしても選べます。

④ 希望の設定にする。

設定し終わったら、OK→✕(閉じる)の順にタッチして、セットアップ項目画面を消す。

設定を変更しないで戻るときは、↩をタッチする。

- シンプル操作(25ページ)に設定中は、画面上の[セットアップ]をタッチすると、操作可能なセットアップ項目が表示されます。

セットアップ項目一覧

ランプ点灯位置によって、操作可能なセットアップ項目(●)が異なります。
シンプル操作時は、下記の設定に自動設定されます(25ページ)。

ランプ点灯位置:	動画	静止画	見る/編集	シンプル操作時

カメラ設定(54ページ)

	動画	静止画	見る/編集	シンプル操作時
プログラムAE	●	●	–	オート
スポット測光	●	●	–	オート
カメラ明るさ	●	●	–	オート
ホワイトバランス	●	●	–	オート
オートシャッター	●	–	–	入
スポットフォーカス	●	●	–	オート
フォーカス	●	●	–	オート
フラッシュ設定	–	●	–	入 *3/⚡ *1/切 *2
SUPER NS/SUPER NS PLUS	●	–	–	切
NSライト	●	●	–	切
COLOR SLOW S	●	–	–	切
セルフタイマー	●	●	–	切
デジタルズーム	●	–	–	切
手ぶれ補正	●	–	–	入

静止画設定(58ページ)

	動画	静止画	見る/編集	シンプル操作時
■連写	–	●	–	切
■画質	–	●	–	ファイン
■画像サイズ	–	●	–	2016 *2/1152 *3
ファイルナンバー	–	●	–	– *1

ピクチャーアプリ(59ページ)

	動画	静止画	見る/編集	シンプル操作時
フェーダー	●	–	–	切
デジタルエフェクト	●	–	–	切
ピクチャーエフェクト	●	–	–	切
録画操作	–	–	●	–
スライドショー	–	–	●	–
デモモード	●	–	–	入

ディスク設定(61ページ)

	動画	静止画	見る/編集	シンプル操作時
初期化	●	●	●	●
ファイナライズ	●	●	●	●
ファイナライズ解除	●	●	●	–
ディスクタイトル	●	●	●	–

ランプ点灯位置:	動画	静止画	見る/編集	シンプル操作時

基本設定（62ページ）

録画モード	●	–	–	SP
音量	–	–	●	●*1
バイリンガル	–	–	●	切
マイク基準レベル	●	–	–	標準
サラウンドモニター	●	–	–	–
サラウンド外部マイク設定	●	–	–	4CHマイク
パネル・VF設定	●	●	●	–*1/ノーマル/–*1/ノーマル/–*1
TVタイプ	●	●	●	–*1
USBスピード	–	–	●	–*1
データコード	–	–	●	–
ディスク残量表示	●	●	–	オート
リモコン	●	●	●	入
録画ランプ	●	●	–	入
おしらせブザー	●	●	●	●*1
画面表示出力	●	●	●	パネル
セットアップ操作方向	●	●	●	–
自動電源オフ	●	●	●	5分後
キャリブレーション	–	–	●	–

時間設定（65ページ）

日時あわせ	●	●	●	●*1
エリア設定	●	●	●	–*1
サマータイム	●	●	●	–*1

*1 シンプル操作前の設定値が保持されます。

*2 DCR-DVD403

*3 DCR-DVD203

カメラ設定

撮影状況に合わせるための設定（明るさ/ホワイトバランス/手ぶれ補正など）

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内のアイコンが画面に表示されます。
操作方法は50ページをご覧ください。

プログラムAE

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
プログラムAEを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

スポットライト*1（ ）
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

ソフトポートレート（ ）
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポーツレッスン*1（ ）
動きの速い被写体のぶれを小さくする。

ビーチ&スキー*1（ ）
照り返しの強い砂浜やゲレンデで、人物が陰にならなくする。

サンセット&ムーン*2（ ）
夕焼けや夜景、花火などを雰囲気たっぷりに表現する。

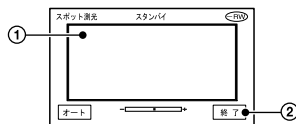
風景*2（ ）
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

*1 近くのものにピントが合わないように設定します。

*2 遠景のみにピントが合うように設定します。

- 電源を外して５分以上経つと、[オート]に戻ります。

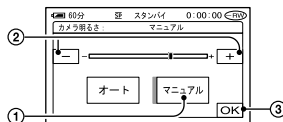
スポット測光（フレキシブルスポット測光）

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の撮影するポイントをタッチ。
　━━━━ が表示されます。
② [終了]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。
- 電源を外して５分以上経つと、[オート]に戻ります。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。例えば、日中の屋内撮影時に壁側で明るさを固定すれば、窓際の人物が逆光で暗く映るのを防げます。

① [マニュアル]をタッチ。
　━━━━ が表示されます。
② [−]/[+]で明るさ調節。
③ [OK]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[OK]をタッチ。

• 電源を外して5分以上経つと、[オート]に戻ります。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶オート

自動調節されます。

屋外（☀）

屋外や昼色蛍光灯の下にあった色合いになる。

屋内（☼）

電球色蛍光灯の下にあった色合いになる。

ワンプッシュ（▲）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① [ワンプッシュ]をタッチ。

② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ [▲]をタッチ。

▲が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

- ▲の速い点滅中は、本機に強い衝撃を与えないでください。
- ▲の遅い点滅は、設定できなかった場合を表します。
- [OK]をタッチ後も▲が点滅するときは、[オート]にしてください。

• [オート]でバッテリーを交換したときや、[カメラ明るさ]設定時に屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、最適な色合いになります。

• [ワンプッシュ]設定中に、[プログラムAE]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

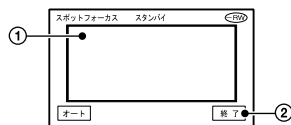
• 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]または[ワンプッシュ]にしてください。

• 電源を外して5分以上経つと、[オート]に戻ります。

オートシャッター

[入]（お買い上げ時の設定）のとき、明るい場所では電気的にシャッタースピードを調節して撮影します。

スポットフォーカス

画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチ。

Fが表示される。

② [終了]をタッチ。

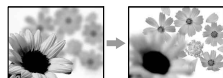
自動ピント合わせに戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

• スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

• 電源を外して5分以上経つと、[オート]に戻ります。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

 →

① [マニュアル]をタッチ。

Fが表示される。

② [👤←]（近くにピント合わせ）/[→▲]（遠くにピント合わせ）をタッチしてピント調節。
それ以上近くにピントを合わせられないときは👤が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは▲が表示される。

③ [OK]をタッチ。

本機の設定を変更する

自動ピント合わせに戻すには、手順②で[オート]→OKをタッチ。

- ピントは、始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 電源を外して5分以上経つと、[オート]に戻ります。

フラッシュ設定

本機の内蔵フラッシュ(DCR-DVD403)、または本機に対応している外付けフラッシュ(別売り)をお使いのとき対応できます。

■ フラッシュモード(DCR-DVD203)

▶入
常に発光する。

入◉
赤目軽減で発光する。

オート
自動発光する。

オート◉
赤目軽減で自動発光する。

- 赤目軽減機能未対応のフラッシュのときは、[入]と[オート]のみ設定できます。
- 電源を外して5分以上経つと、[入]に戻ります。

■ フラッシュレベル

明るい(ϟ+)
発光量が増える。

▶ノーマル(ϟ)

暗い(ϟ−)
発光量が減る。

- 電源を外して5分以上経つと、[ノーマル]に戻ります。

■ 赤目軽減(DCR-DVD403)

撮影前に予備発光して、目が赤く光るのを抑制します。
[入]に設定してϟ(フラッシュ)ボタン(33ページ)を繰り返し押し、お好みの設定を選ぶ。

◉(自動赤目軽減):自動でフラッシュ撮影するときのみ撮影前に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
◉ϟ(強制赤目軽減):常に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
ϟ(発光禁止):常に発光しない。

- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。
- 電源を外して5分以上経つと、[切]に戻ります。

SUPER NS(DCR-DVD403)/SUPER NSPLUS(DCR-DVD203)(Super NightShot/Super NightShot plus)

あらかじめ、NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチ(33ページ)を「入」にした状態で、[SUPER NS/SUPER NSPLUS] を[入]に設定すると、暗い場所でNightshot/Nightshot plus(33ページ)の最大16倍の感度で撮影できます。
S◉と、["SUPER NIGHTSHOT"]または["SUPER NIGHTSHOT PLUS"]表示が点滅します。

解除するには、[SUPER NS]または[SUPER NSPLUS]を[切]にする。

- 明るい場所で使うと故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ([フォーカス]、55ページ)してください。

• シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

NS ライト(NightShotライト)

[入](お買い上げ時の設定)のとき、NightShot/NightShot plus(33ページ)と[SUPER NS]または[SUPER NSPLUS](56ページ)撮影時に、赤外線(不可視)を発光する[NSライト]で、よりはっきりした画像を撮影できます。

• 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
• ライトが届く範囲は約3メートルです。夜景や月明かりなどの薄暗い場所では、[切]にして撮影すると、被写体の色味を濃くできます。

COLOR SLOW S (Color Slow Shutter)

[入]に設定すると、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
と[COLOR SLOW SHUTTER]表示が点滅します。

解除するには、[切]をタッチ。

• ピントが合いにくい場合は、手動でピント合わせ([フォーカス]、55ページ)してください。
• シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

セルフタイマー

約10秒後に撮影を開始できます。

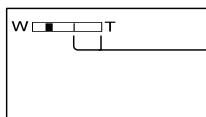
① P.メニュー→[セットアップ]→ カメラ設定→[セルフタイマー]→[入]→OKの順にタッチ。
が表示される。

② 動画のときは、録画スタート/ストップボタン、静止画のときはフォトボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチ。

解除するには、手順①で[切]を選ぶ。

• リモコンでも使えます(39ページ)。

デジタルズーム

撮影時に、12倍(DCR-DVD203)/10倍(DCR-DVD403)光学ズーム(お買い上げ時の設定)を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

DCR-DVD203

▶切
12倍光学ズームのみ

24×
12倍光学ズーム＋最大24倍までのデジタルズーム

150×
12倍光学ズーム＋最大150倍までのデジタルズーム

DCR-DVD403

▶切
10倍光学ズームのみ

20×
10倍光学ズーム＋最大20倍までのデジタルズーム

120×
10倍光学ズーム＋最大120倍までのデジタルズーム

手ぶれ補正

お買い上げ時の設定は[入]のため、手ぶれ補正を使って撮影できます。コンバージョンレンズ(別売り)や三脚を利用するときは、[切]( )にします。

静止画設定

静止画に関する設定(画質/画像サイズ/連写など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内のアイコンが画面に表示されます。
操作方法は50ページをご覧ください。

連写

フォトボタンを押したときに、静止画を連写できます。

▶切
連写しない。

ノーマル()
約0.5秒間隔で静止画を連続して撮影する。
フォトボタンを押したままにすると、以下の最大枚数まで連写する。

DCR-DVD203
1152×864（1152）: 4枚
640×480（640）: 13枚

DCR-DVD403
2016×1512（2016）: 3枚
640×480（640）: 21枚

ブラケット(BRK)
約0.5秒間隔に、露出を自動で変えた3枚の画像を連写する。3枚を見比べて明るさが最適な画像を選べる。

- 連写中はフラッシュは発光しません。
- セルフタイマーやリモコンでの撮影時は、最大枚数まで連写します。
- 画像サイズとディスクの残量によっては最大枚数まで撮影できないことがあります。
- 連写撮影は、通常の静止画撮影よりも画像の書き込みに時間がかかります。画面のバーのスクロール表示(▌▌▌▌)とアクセスランプの点灯が消えてから、次の静止画を撮影してください。

画質

▶ファイン(FINE)
高画質で記録する。

スタンダード(STD)
標準の画質で記録する。

静止画ファイルサイズの目安(KB)

	2016×1512* 2016	1152×864** 1152	640×480 640
ファイン(FINE)	約1540	約960	約150
スタンダード(STD)	約640	約420	約60

*DCR-DVD403/**DCR-DVD203

画像サイズ

▶2016×1512（2016）(DCR-DVD403)/1152×864（1152）(DCR-DVD203)
鮮明な画像を撮影する。

640×480（640）
たくさんの枚数を撮影する。

静止画撮影可能枚数の目安(枚)

	2016×1512* 2016	1152×864** 1152	640×480 640
DVD-R	810 1750	2150 4100	5100 8100
DVD-RW (VIDEOモード)	850 1850	2250 4300	5400 8600
DVD-RW (VRモード)	850 1850	2250 4300	5400 8600
DVD+RW	740 1450	1650 2600	2950 3800

上段:ファイン画質/下段:スタンダード画質
*DCR-DVD403/**DCR-DVD203

• 片面ディスクに静止画のみを撮影した場合の目安です。両面ディスクの場合は各面での撮影枚数の目安になります。

ファイルナンバー

▶連番

ディスクを取り換えてもファイル番号を連続して付ける。

リセット

ディスクごとにファイル番号を0001から付ける。

ピクチャーアプリ

画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能(デジタルエフェクト/ピクチャーエフェクト/スライドショーなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内のアイコンが画面に表示されます。
操作方法は50ページをご覧ください。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① 使いたい効果を選んで、OK をタッチ。
[オーバーラップ]または[ワイプ]を選ぶと、画面が静止画として記憶される。記憶中は一時的に画面が青くなります。
② 録画スタート/ストップボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

解除するには①で[切]をタッチ。

ファインダーを見ながら操作する

液晶パネルを180°回転させ、外側に向けて閉じると、ファインダーを見ながら[フェーダー]と[カメラ明るさ]を調節できます。

① (動画)ランプが点灯していることを確認する。
② ファインダーを伸ばし、液晶パネルを外側に向けて閉じる。
切 が表示される。
③ 切 をタッチ。
[パネルを消しますか?]が表示される。
④ [はい]をタッチ。
画面表示が消える。
⑤ ファインダーを見ながら、画面をタッチ。
[カメラ明るさ]などが表示される。
⑥ 設定するボタンをタッチ。
[カメラ明るさ]: − / + で調節し、OK をタッチ。
[フェーダー]: 繰り返しタッチして希望の効果を選ぶ。
入 : 液晶画面を点灯する。

ボタン表示を消すには、OK をタッチ。

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

オーバーラップ（フェードインのみ）

ワイプ（フェードインのみ）

デジタルエフェクト

演出を加えて画像を撮影できます。D✦が表示されます。

① 設定する効果を選ぶ。

② [ルミキー]では、[−]/[+]で静止画部分の明るさを調節して[OK]をタッチ。[OK]をタッチしたときの画像が静止画として記憶される。

③ [OK]をタッチ。
D✦が表示される。

解除するには手順①で[切]をタッチ。

ルミキー（ルミナンスキー）
記録済みの静止画の明るい部分（人物など）を、動画にはめ込んで撮影する。

オールドムービー
昔の映画のような画像にする。
16:9で記録されます。

ピクチャーエフェクト

特殊効果を加えて撮影できます。P✦が表示されます。

▶切
ピクチャーエフェクトを使わない。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

パステル
淡い色の画像。

モザイク
タイルを組み合わせたような画像。

録画操作

75ページをご覧ください。

スライドショー

ディスク内のすべての静止画を順番に自動再生できます。

[スタート]をタッチすると、静止画が数秒ごとに切り換わります。
中止するには[終了]を、一時停止するには[ポーズ]をタッチ。再開するときはもう1度[スタート]をタッチ。

- [⏮]/[⏭]でスライドショーを始める画像を選べます。
- ⮂をタッチして、スライドショーの繰り返し再生を設定できます。お買い上げ時は[入]（繰り返し再生）に設定されています。

デモモード

お買い上げ時の設定は[入]のため、ディスクを入れずに電源スイッチを (動画)にして電源を入れると、約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - デモンストレーション中に画面をタッチする(約10分後に再開します)。
  - ディスクカバーオープンスイッチをずらす。
  - 電源スイッチを (動画)以外にする。
  - NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチを[入]にする(33ページ)。

ディスク設定

ディスクに関する設定(初期化/ファイナライズ/ファイナライズ解除など)

操作方法は50ページをご覧ください。

初期化

49ページをご覧ください。

ファイナライズ

41ページをご覧ください。

ファイナライズ解除

48ページをご覧ください。

ディスクタイトル

ディスクにタイトル(名前)をつけられます。変更する前は、ディスクの使用開始日時がディスクタイトルとして表示されています。

① P.メニュー→[セットアップ]→ディスク設定→[ディスクタイトル]をタッチ。

ディスクタイトル設定画面が表示される。

② ディスクタイトルを入力する。

「DVDプレーヤーやDVDドライブで見られるようにする(ファイナライズ)」の「操作4:ディスクタイトルを変更する」(43ページ)手順**2**～**5**を行う。

変更を止めるときは手順②で[中止]をタッチ。

基本設定

撮影時の設定や、各種基本設定（録画モード/パネル・VF設定/USBスピードなど）

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内のアイコンが画面に表示されます。
操作方法は50ページをご覧ください。

録画モード

動画を撮影するときの画質を3段階から選べます。

HQ（HQ）
高画質で録画する。
（録画時間の目安：～約20分程度）

▶SP（SP）
標準画質で録画する。
（録画時間の目安：～約30分程度）

LP（LP）
長時間録画する。
（録画時間の目安：～約60分程度）

- **カッコ内は片面ディスクに動画のみを撮影した場合の録画時間の目安です。両面ディスクの場合は、各面での録画時間の目安になります。**
- **本機では、VBR方式（10ページ）を採用しているため、動きの速い画像を撮影すると、録画時間は短くなります。**
- LPモードで録画したディスクを再生すると、多少画質が荒くなり、動きの速い映像ではブロックノイズが出ることがあります。

音量

31ページをご覧ください。

バイリンガル

他機で二重音声（またはステレオ音声）で記録した動画を、本機で再生するときの音声が選べます。

▶切
主＋副音声（またはステレオ音声）で再生する。

メイン
主音声（または左音声）で再生する。

サブ
副音声（または右音声）で再生する。

- 電源を外して５分以上経つと、[切]に戻ります。

マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。
演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選びます。

▶ 標準
周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低
周囲の音を忠実に録音する。日常の会話の録音などには適していません。

- 電源を外して５分以上経つと、[標準]に戻ります。

サラウンドモニター

5.1chサラウンド記録時に、どの方向から音が録音できているかを表示できます。

サラウンド外部マイク設定

別売りのマイクロフォンで記録する音声を設定します。別売りのマイクロフォン（ECM-HQP1）をアクティブインターフェイスシュー（76ページ）に取り付けます。詳しくはマイクロフォンの取扱説明書をご覧ください。

▶4CHマイク
フロント側R/L、リア側R/Lの4chから取り込んだ音声を、5.1chサラウンドに変換して記録する。

ステレオ
通常のステレオ音声で記録する。

- 電源を外して５分以上経つと、[4CHマイク]に戻ります。

パネル・VF設定

設定を変更しても、録画される画像に影響はありません。

■ パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチ。

■ パネルバックライトレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定(標準の明るさ)。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ パネル色のこさ

[－]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

薄くなる　濃くなる

■ VFバックライト

ファインダーのバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定(標準の明るさ)。

明るい
ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ VFワイド表示タイプ

ワイド画像のファインダーでの見えかたを設定できます。

▶レターボックス
通常の設定(標準の見えかた)。

スクイーズ
ワイド画像で上下に帯があって表示が見にくいとき、画像を上下に引きのばす。

- 電源スイッチが (静止画)のときは表示されません。

TVタイプ

40ページをご覧ください。

USBスピード

パソコンへのデータ転送速度を選べます。

▶オート
接続するパソコンに応じて、Hi-Speed USB(USB2.0準拠)転送とUSB1.1のfull speed相当の速度の転送を自動で切り換える。

フルスピード固定
USB1.1のfull speed相当の速度でデータ転送を行う。

データコード

撮影時に自動的に記録された情報(データコード)を再生時に確認できます。

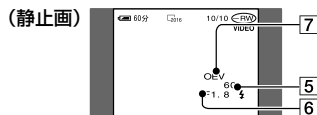
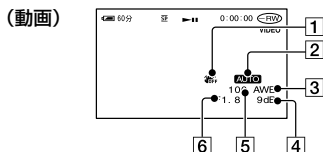
▶切
データコードを表示しない。

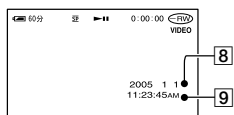
カメラデータ
記録した画像のカメラデータを表示。

日付時刻データ
記録した画像の日付・時刻データを表示。

カメラデータ

(動画)

(静止画)

1 手ぶれ補正
2 明るさ調節
3 ホワイトバランス
4 ゲイン
5 シャッタースピード
6 絞り値
7 露出

日付時刻データ

8 日付
9 時刻

- フラッシュを使って撮影した画像では、ϟ が表示されます。
- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのデータコードボタンを押すと、日付時刻データ → カメラデータ → 切(表示なし)と切り換わります。
- ディスクの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。
- 電源を外して５分以上経つと、[切]に戻ります。

ディスク残量表示

▶オート

次のときにディスク残量を約8秒間表示する。

- 電源スイッチを (動画)または (静止画)にしてディスク残量を認識したとき
- ディスクを入れ電源スイッチを (動画)または (静止画)にした状態で、画面表示/バッテリーインフォボタンを押して、画面表示を非表示→表示に切り換えたとき
- ディスク残量が動画で5分以下、静止画で30枚以下になったとき
- 外部入力録画を始めたとき

入

ディスク残量を常に表示する。

リモコン

お買い上げ時の設定は[入]のため、付属のワイヤレスリモコン(39ページ)が使えます。

- [切]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。
- 電源を外してから５分以上経つと、自動的に[入]に戻ります。

録画ランプ

[切]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなります。(お買い上げ時の設定は[入])。

おしらせブザー

▶入

撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切

操作音を出さない。

画面表示出力

▶パネル
カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

ビデオ出力/パネル
画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

セットアップ操作方向

▶ノーマル
[▲]をタッチするとセットアップ項目が下に回転する。

逆方向
[▲]をタッチするとセットアップ項目が上に回転する。

自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

キャリブレーション

102ページをご覧ください。

時間設定
(日時あわせ/エリア設定/サマータイム)

操作方法は50ページをご覧ください。

日時あわせ

21ページをご覧ください。

エリア設定

海外で使用するときは、▲/▼で使用する地域を選び、現地時刻に合わせる。「世界時刻表」(100ページ)をご覧ください。

サマータイム

▶切
サマータイムを設定しない。

入
サマータイムを設定する。

- [エリア設定]と[サマータイム]では、時計を止めることなく、時差補正ができます。

パーソナルメニューを変更する

希望のセットアップ項目を、電源スイッチの位置ごとに、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

項目を追加する

電源ランプの位置ごとに、最大27項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してください。

1 P.ﾒﾆｭｰ →[P. メニュー設定]→[追加]をタッチ。

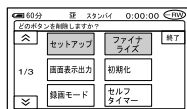
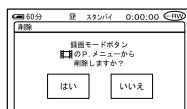
2 ▲/▼で設定項目を選び、OKをタッチ。

3 ▲/▼で項目を選び、OK→[はい]→ ✕ をタッチ。

項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

項目を削除する

1 P.ﾒﾆｭｰ →[P. メニュー設定]→[削除]をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 削除する項目をタッチ。

3 [はい]→ ✕ をタッチ。

- [セットアップ]、[ファイナライズ]と[P. メニュー設定]は削除できません。

表示位置を並べ替える

1 P.ﾒﾆｭｰ →[P. メニュー設定]→[並べ替え]をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 移動する項目をタッチ。

3 ▲/▼で項目を移動する。

4 OKをタッチ。

続けて並べ替えるときは手順**2**～**4**を行う。

5 [終了]→×をタッチ。

- [P.メニュー設定]は並べ替えられません。

お買い上げ時の設定に戻す（リセット）

P.メニュー→[P.メニュー設定]→[リセット]→[はい]→[はい]→×をタッチ。

オリジナル画像を編集する

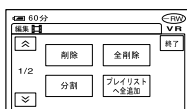
DVD-RW（VRモード）のみ操作できます

本機で撮影してディスクに記録された動画や静止画を、「オリジナル」といいます。DVD-RW（VRモード）では、ディスクに記録されたオリジナル画像を本機で編集できます。

不要な画像を削除する

1 電源スイッチを ▶（見る/編集）にする。

2 画像を記録したディスクを入れる。

3 削除したい画像に合わせて 🎞（動画）タブまたは 📷（静止画）タブを選び、[編集]をタッチ。

4 [削除]をタッチ。

5 削除したい画像をタッチ。

選んだ画像に ✔ がつきます。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには ↩ をタッチ。

- 同時に複数の画像を選べます。

6 OK → [はい]をタッチ。

- いったん削除した画像は元に戻せません。

ディスク内のすべての動画または静止画を一括して削除するには

手順**4**で[全削除]をタッチ。

- 削除した動画がプレイリスト（69ページ）に追加されている場合は、プレイリスト上の動画も削除されます。
- 不要な画像を削除してもディスクの空き容量がほとんど増えず、追加記録ができない場合があります。
- ディスクに記録されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します（49ページ）。

動画を分割する

1 電源スイッチを ▶（見る/編集）にする。

2 動画を記録したディスクを入れる。

3 🎞（動画）タブ→[編集]をタッチ。

4 [分割]をタッチ。

5 分割したい動画をタッチ。

選んだ動画が再生されます。

プレイリストを作る

6 分割したいところで ▶II をタッチ。

再生が一時停止します。

をタッチすると、に変わり、以下の操作ボタンが表示されます。

選んだ動画の先頭に戻る

音量を調節する

▶II で分割位置を決定してから微調整をする

表示を消すにはをタッチ。

- ▶II を押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。
- 本機では0.5秒ごとに分割点を検出するため、▶II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

7 OK → [はい]をタッチ。

- いったん分割した動画は元に戻せません。

- 分割した動画がプレイリストに追加されている場合は、プレイリスト上の動画は分割されません。

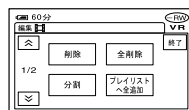
DVD-RW(VRモード)のみ操作できます

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画/静止画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。
プレイリスト上で画像を編集しても、オリジナルの画像には影響はありません。

- プレイリスト編集中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ディスクが壊れる恐れがあります。
- プレイリストには999の画像を追加できます。

1 電源スイッチを ▶(見る/編集)にする。

2 画像を記録したディスクを入れる。

3 追加したい画像に合わせて (動画)タブまたは (静止画)タブを選び、[編集]をタッチ。

4 [プレイリストへ追加]をタッチ。

- 画面にない場合は / をタッチして表示させる。

5 追加したい画像をタッチ。

本機で編集する(DVD-RW:VRモード)

選んだ画像に ✔ がつきます。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには [↩] をタッチ。

- 同時に複数の画像を選べます。

6 [OK] → [はい] をタッチ。

- 静止画をプレイリストに追加すると自動的に動画変換され、動画タブにも追加されます。画像の右上には が表示されます。オリジナルの静止画はそのまま残ります。
- 動画に変換された静止画の解像度は、多少下がる場合があります。

ディスク内のすべての動画をプレイリストに追加するには

手順**4**で［プレイリストへ全追加］をタッチ。

ディスク内のすべての静止画をプレイリストに追加するには

あらかじめフォトムービーを作成してからプレイリストに追加することをおすすめします。72ページをご覧ください。

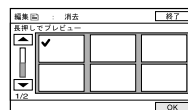
追加した画像をプレイリストから外す

1 電源スイッチを ▶（見る/編集）にする。

2 プレイリストに画像を追加したディスクを入れる。

3 （プレイリスト）タブ→［編集］をタッチ。

4 ［消去］をタッチ。

5 プレイリストから外したい画像をタッチ。

選んだ画像に ✔ がつきます。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには [↩] をタッチ。

- 同時に複数の画像を選べます。

6 [OK] → [はい] をタッチ。

プレイリストに追加したすべての画像を一括して外すには

手順**3**で［全消去］→［はい］をタッチ。

- プレイリストに追加した画像を外しても、オリジナルの画像には影響ありません。

追加した画像を並べ換える

1 電源スイッチを ▶（見る/編集）にする。

2 プレイリストに画像を追加したディスクを入れる。

3 (プレイリスト)タブ→[編集]をタッチ。

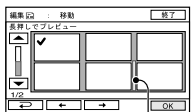
4 [移動]をタッチ。

5 移動させたい画像をタッチ。

選んだ画像に ✔ がつきます。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには をタッチ。

- 同時に複数の画像を選べます。

6 OK をタッチ。

7 [←]/[→]で移動先を選ぶ。

移動先表示

8 OK → [はい]をタッチ。

- 複数の画像を選んだ場合は、プレイリスト上で並んでいた順番で移動します。

追加した動画を分割する

1 電源スイッチを (見る/編集)にする。

2 プレイリストに動画を追加したディスクを入れる。

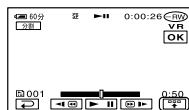
3 (プレイリスト)タブ→[編集]をタッチ。

4 [分割]をタッチ。

5 分割したい動画をタッチ。

選んだ動画が再生されます。

6 分割したいところで ►II をタッチ。

再生が一時停止します。

タッチすると、画面中央に操作ボタンが追加されます(69ページ)。

- ►II を押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。
- 本機では0.5秒ごとに分割点を検出するため、►II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

7 OK → [はい]をタッチ。

- プレイリストに追加した動画を分割しても、オリジナルの動画は分割されません。

すべての静止画を1つの動画に変換する(フォトムービー)

フォトムービーは、ディスク内の静止画(JPEG形式)をディスクに残したまま、他のDVD機器やパソコンのDVD再生ソフトウェアで再生できるように、動画ファイル(MPEG形式)に変換して新たに保存することです。
フォトムービーに変換された静止画は、スライドショーのように連続再生されます。ただし、解像度は多少下がる場合があります。
また、フォトムービーを作成すると、複数の静止画を1つの動画として扱うので、より多くの画像をプレイリストに追加できます。

1 電源スイッチを ▶ (見る/編集)にする。

2 静止画を記録したディスクを入れる。

3 (静止画)タブ→[編集]→[フォトムービー作成]をタッチ。

4 [はい]をタッチ。

ディスク内のすべての静止画が1つの動画ファイルに変換され、動画タブに追加されます。画像の右上には が表示されます。

- フォトムービーの作成は、記録した静止画が多いほど時間がかかります。
- デジタルスチルカメラなどで撮影した静止画をパソコンからコピーした場合など、本機と互換性のない静止画はフォトムービーに変換できません。

プレイリストを再生する

DVD-RW(VRモード)のみ操作できます

1 電源スイッチを ▶ (見る/編集)にする。

2 プレイリストに画像を追加したディスクを入れる。

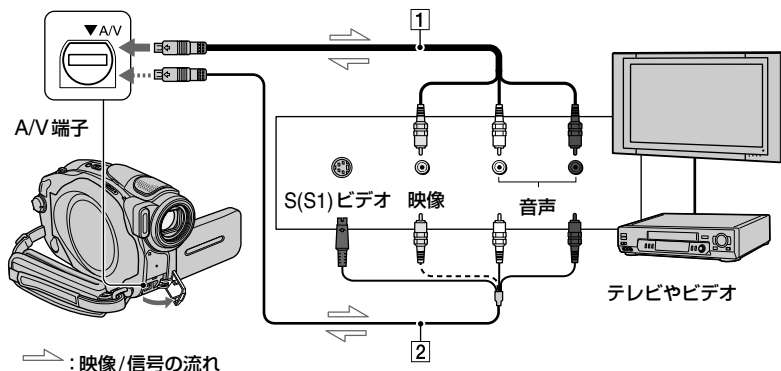
3 (プレイリスト)タブを選ぶ。

プレイリストに追加された画像が表示されます。

4 再生を始めたい画像をタッチ。

選んだ画像からプレイリストの最後まで再生され、ビジュアルインデックス画面に戻ります。

テレビやビデオにつなぐ

下の図のいずれかの方法でつなぎます。
電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(15ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **AV接続ケーブル(付属)**
A/V端子は、アナログ信号の入出力を兼用し、動作状態によって自動的に切り換わります。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル(別売り)**
S(またはS1)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- 他機の画像を本機のディスクへダビングする場合は、他機の出力端子へ、本機の画像を他機へダビングする場合は他機の入力端子へ、付属のAV接続ケーブルをそれぞれつなぎます。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力/出力)の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力/出力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力/出力へつなぎます。

他のビデオ/DVD機器にダビングする

本機の画像をビデオテープや、他のDVDへダビングできます。HDD（ハードディスク）搭載のレコーダーでは、ハードディスクにダビングして、画像を楽しめます。

- AV接続ケーブルで接続した機器の画面にカウンターなどの表示を出さない場合は、[画面表示出力]を[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください(65ページ)。

1 本機とビデオを、AV接続ケーブル(付属)でつなぐ。

接続について詳しくは、73ページをご覧ください。

- ビデオ/DVD機器の入力端子につないでください。

2 ビデオは録画用カセットテープ、DVDレコーダーは録画用DVDをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

3 本機の電源スイッチを ▶（見る/編集）にする。

再生機器(テレビなど)に合わせて、[TVタイプ]を設定してください(40ページ)。

4 本機に撮影済みのディスクを入れる。

5 本機で再生を始め、ビデオ/DVD機器で録画を始める。

詳しくは、ビデオ/DVD機器の取扱説明書をご覧ください。

6 ダビングが終わったら、ビデオ機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

- 日付などのデータコードをダビングしたい場合は、データコードを表示させます(63ページ)。

テレビやビデオ/DVD機器などの画像を本機で録画する

テレビ番組や、ビデオ、DVDレコーダーの画像を本機で録画できます。

• 1回だけ録画可能な番組、および著作権保護のための信号が記録されている番組は、本機では録画できません。

1 本機と、テレビやビデオ/DVD機器をAV接続ケーブルでつなぐ。

接続について詳しくは、73ページをご覧ください。

• テレビやビデオ/DVD機器の出力端子につないでください。

2 ビデオ/DVD機器の場合は、再生するカセットテープやDVDをセットする。

3 本機の電源スイッチを ▶(見る/編集)にする。

4 P.メニュー → [録画操作]をタッチ。

S映像端子のある機器につないでいるときは、[設定] → [ビデオ入力] → [Sビデオ] → OKをタッチします。

• [設定]をタッチして、録画モードや音量を変更できます。
• [設定] → [ディスク残量表示] → [入]をタッチすると、録画中にディスク残量の目安を常に表示します。

5 本機に録画用のディスクを入れる。

新しいDVD-RW/DVD+RWを使うときは初期化をする(49ページ)。

6 ビデオ/DVD機器で再生、またはテレビ番組を受信する。

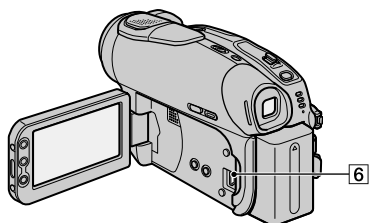
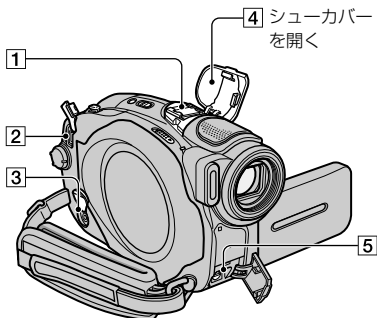
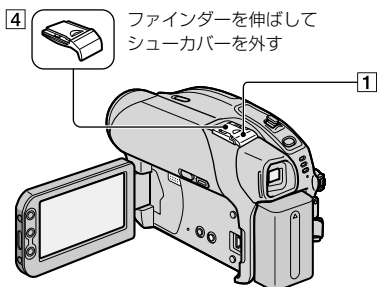
再生側の画像が本機の画面に映る。

7 録画を開始したい場面で[●録画]をタッチ。

8 録画を止めたい場面で ■ をタッチ。

9 [終了]をタッチ。

• [●録画]をタッチしてから、実際に録画が始まるまでに、若干の時間差が生じることがあります。
• 本機のフォトボタンを押しても、入力している画像を静止画として記録することはできません。
• テレビに出力端子がない場合は録画できません。

外部機器をつなぐ端子について

DCR-DVD203:

1 アクティブインターフェイスシュー

Active Interface Shoe

専用マイクやフラッシュなどを使用時、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるのアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

- 接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。
- フラッシュ（別売り）を付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売りのフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません（DCR-DVD403）。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます。

2 DC IN端子（15ページ）

3 REMOTE端子

- 別売りのアクセサリーを接続します。

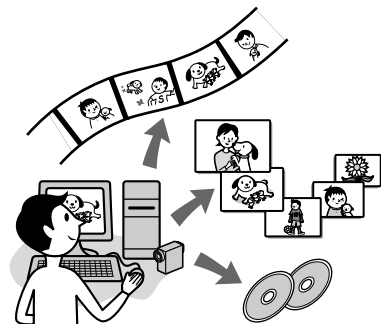
4 シューカバー

5 A/V端子（73ページ）

6 ψ（USB）端子（77ページ）

パソコンで「ファーストステップガイド」を見る前に

付属のCD-ROMからパソコンに、「Picture Package」をインストールすると、本機とパソコンを接続して、次のような操作を楽しむことができます。

- **付属のソフトウェア「Picture Package」はMacintoshには対応していません。**

■ **画像を見る・保存する**
→Picture Package DVD Viewer

画像をサムネイル表示から選んで見ることができます。取り込んだ日付ごとに静止画も動画もフォルダに保存されます。

動画の不要な部分を削除したり、メニュー付きのDVDを作成できます。

■ **Myビデオ＆Myスライドショーを自動作成**
→Picture Package Producer2

動画や静止画を素材として、音楽や効果付きのオリジナルビデオを簡単に作成できます。

■ **ディスクの複製**
→Picture Package Duplicator

DVDハンディカムで記録したディスクをそのままコピーできます。

- CD-ROM（付属）には以下のソフトウェアが含まれています。
  – USB Driver
  – Picture Package Ver.1.8
  – 「ファーストステップガイド」

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はパソコンで見ることができるマニュアルです。本機とパソコンの接続や初期設定からCD-ROM（付属）に含まれているソフトウェアを初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。「ソフトウェアなどをインストールする」（78ページ）をご覧になりながらCD-ROMをインストールしたあとに、「ファーストステップガイド」を起動して、手順に従ってください。

ソフトウェア付属のヘルプのご案内

ソフトウェアの全ての機能を説明しています。「ファーストステップガイド」で操作の概要を理解したうえで、さらに詳しい操作法を知りたいときは、ヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、画面上の［？］マークをクリックしてください。

パソコンの推奨使用環境

OS：Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP HomeEdition/Windows XP Professional（上記OSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。上記OSでもアップグレードした場合は動作保証いたしません。）

CPU：Pentium Ⅲ 600MHz以上（Pentium Ⅲ 1GHz以上を推奨します。）

パソコンとつなぐ

次のページへつづく ➡

必要なソフトウェア： DirectX 9.0c以降（DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。）/Windows Media Player 7.0以降/Macromedia Flash Player 6.0以降

サウンドカード：16ビットのステレオサウンドカードおよびスピーカー

メモリー：128MB以上（256MB以上を推奨します。）

ハードディスク：インストールに必要な容量：約250MB（Picture Package Duplicatorなどをお使いの場合は2GB以上。）/推奨する空き容量：6GB以上（編集する画像ファイルサイズにより異なります。）

ディスプレイ：4MBのVRAMを搭載したビデオカード、解像度は800×600ドット以上、HighColor（16ビットカラー65 000色）、DirectDrawドライバ対応、（800×600ドット未満、256色以下では正常に動作しません。）

その他必要な装置：USB端子標準装備、ディスクドライブ

- 本機はHi-Speed USB(USB2.0準拠)に対応しています。Hi-Speed USB（USB2.0準拠）対応のUSBインターフェイスに接続すると、高速な画像転送（Hi-Speed転送）が行えます。Hi-Speed USB(USB2.0準拠)に未対応のUSBインターフェイスに接続した場合、USB1.1相当の転送速度（full-speed転送）になります。
- 推奨環境すべてのパソコンについての動作を保障するものではありません。

ソフトウェアなどをインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストール不要です。

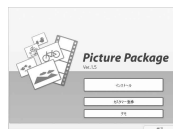
1 パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしてください。

使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。

インストール画面が表示されます。

インストール画面が表示されないときは、以下の操作を行ってください。

① ［マイコンピュータ］をダブルクリックする。
② ［Picture Package（E:)］（CD-ROM）*をダブルクリックする。

* ドライブ文字（(E:)など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 ［インストール］をクリックする。

パソコンのOSによっては、InstallSheild Wizardで「ファーストステップガイド」が自動的にインストールできないメッセージが表示されます。その場合、メッセージの指示に従って、パソコンに「ファーストステップガイド」を手動でコピーしてください。

5 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

6 [次へ]をクリックする。

7 [使用許諾契約]の内容をよく読み、同意される場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。

8 インストール先を選択して、[次へ]をクリックする。

9 [NTSC: 主に日本、アメリカなどの方式です。]にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。

10 [インストール準備の完了]画面の[インストール]をクリックする。

Picture Packageのインストールが始まります。

11 [次へ]をクリックし、「ファーストステップガイド」をインストールするために画面の指示に従う。

パソコンによっては、この画面は表示されません。その場合は手順**12**に進んでください。

パソコンとつなぐ

次のページへつづく ➡

12 [次へ]をクリックし、ImageMixer EasyStepDVDをインストールするために画面の指示に従う。

13 もし[Microsoft(R) DirectX(R)をインストールしています]画面が表示されたら、DirectX 9.0cをインストールするために以下の手順を行う。表示されない場合は、手順**14**に進む。

① [使用許諾契約]の内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

② [次へ]をクリックする。

③ [完了]をクリックする。

14 [はい、今すぐコンピュータを再起動します]がチェックされていることを確認して、[完了]をクリックする。

パソコンの電源がいったん切れたあと、自動的に電源が入ります(再起動)。デスクトップ画面に[Picture Package Menu]と[Picture Package Menu取り込み先フォルダ](手順**11**でインストールができた場合は、[ファーストステップガイド])のショートカットが表示されます。

15 パソコンからCD-ROMを取り出す。

• Picture Packageについてのお問い合わせは81ページをご覧ください。

「ファーストステップガイド」を見る

「ファーストステップガイド」を表示する

「ファーストステップガイド」は、Microsoft Internet Explorer Ver.6.0以上で見ることをおすすめします。

デスクトップの アイコンをダブルクリックする。

[スタート]→[プログラム]（Windows XPをお使いのかたは[すべてのプログラム]）→[Picture Package]→「First Step Guide」を選んで、「First Step Guide」を起動させることもできます。

「ファーストステップガイド」を自動インストールせずにHTML形式でご覧になる場合は、CD-ROMの「First Step Guide」にある言語フォルダをパソコンにコピーし、[Index.html]をダブルクリックしてください。

- 以下のときは「FirstStepGuide.pdf」をご覧ください。
  - 「ファーストステップガイド」を印刷したい。
  - ブラウザの設定により、推奨環境でも正常に表示されない。
  - HTML形式で自動インストールできない。

ソフトウェアについてのお問い合わせ先

ピクセラユーザーサポートセンター

Picture Packageに関する問い合わせを受け付けています。
電話：06-6633-3900
受付時間：月～日曜日　午前９時～午後５時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
http://www.ppackage.com/

著作権について

あなたがCDやネットワーク等から入手した音楽著作物の著作権は、それぞれの音楽著作物の権利者に帰属します。これらの音楽著作物を、法令で認められている私的使用等の範囲を超えて使用（複製、改変、再生、アップロード、特定多数もしくは不特定多数が利用できる家庭外ネットワークへ送信すること又は送信可能な状態におくこと、譲渡、頒布、貸与、ライセンス、販売、出版等を含む）することは、権利者からの許可を得ない限り認められていません。ソニーによるPicture Package の提供は、これら第三者の音楽著作物に関してあなたになんらの権利を許諾するものではありませんので、ご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、
テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

全体操作/シンプル操作について

電源が入っているのに操作できない。

- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（35ページ）を先のとがったもので押す。（パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される。）
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は、使える機能が限られます。シンプル操作を解除する（25ページ）。

シンプル操作/通常操作に切り換えられない。

- 撮影中とUSBケーブルを使って他機と通信中は、シンプル操作への切り換えやシンプル操作から通常操作への切り換えはできません。シンプル操作を解除する（25ページ）。

シンプル操作にすると、設定が変わる。

- シンプル操作に設定すると、本機の一部の設定はお買い上げ時の状態に戻る（25ページ）。

デモモードに切り換わらない。

- NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチが「入」のとき、デモンストレーションできません。NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチを「切」にする（33ページ）。
- ディスクを取り出す（22ページ）。

本機が振動する。

- ディスクの状態によっては本機が振動することがある。故障ではありません。

振動が手に感じられる、または操作中にかすかな音が聞こえる。

- 故障ではありません。

動作音が本機から定期的に聞こえる。

- 故障ではありません。

ディスクを入れずにディスクカバーを閉めたときに内部でモーター音が聞こえる。

- ディスクの有無を認識しているためで、故障ではありません。

長時間使用すると本機が熱くなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。
- 本機の電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

バッテリー/電源について

電源が入らない。

- バッテリーが取り付けられていない。バッテリーを取り付ける（15ページ）。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（15ページ）。
- ACアダプターのプラグがコンセントから外れている。コンセントにつなぐ（15ページ）。

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（65ページ）か、もう1度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（15ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点灯しない。

- 電源スイッチを「切（充電）」にする（15ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（15ページ）。
- コンセントから電源が供給されていない（15ページ）。
- すでに充電が完了している（15ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す（15ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。

バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。

- 残量表示にズレが生じている、または充電が不充分。満充電し直すと残量が正しく表示される（15ページ）。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（15ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

次のページへつづく ➡

バッテリーの消耗が速い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が速いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（15ページ）。

ACアダプターを使用中、本機に不具合が生じる。

- 電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう1度電源をつなぐ。

液晶画面/ファインダーについて

液晶画面またはファインダーに見慣れない画面が現れる。

- [デモモード]になっている（61ページ）。液晶画面のどこかをタッチする、またはディスクを入れる。

見慣れない表示が出る。

- 警告表示、またはお知らせメッセージです（96ページ）。

液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DCプラグを抜いたためで、故障ではありません。

液晶画面バックライトを「切」にできない。

- シンプル操作中は操作できません。シンプル操作を解除する（25ページ）。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- 画面表示/バッテリーインフォボタン（またはリモコンの画面表示ボタン）を押す（20、39ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節（キャリブレーション）する（102ページ）。
- 画面の比率を変更すると、タッチパネルのボタンや表示の比率も切り換わります（24ページ）。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- ファインダーを伸ばす（19ページ）。
- 視度調整つまみを動かす（19ページ）。

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面が開いているとファインダーには画像は映りません。液晶画面を閉じる（19ページ）。

ディスクについて

ディスクが取り出せない。

- 電源（バッテリーやACアダプター）が正しく接続されているか確認する（15ページ）。
- バッテリーを外して、もう1度取り付ける（16ページ）。
- 充電されたバッテリーを取り付ける（15ページ）。
- ディスクに傷がある、または指紋などで汚れている。この場合は取り出しに最大30分程度かかることがある。
- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切り、涼しい場所で約1時間放置する（102ページ）。
- ファイナライズ中に本機の電源を切ったため。電源を入れ、ファイナライズを終了させる（41ページ）。

ディスク残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[ディスク残量表示]を[入]にする（64ページ）。

ディスク表示、記録フォーマット表示が灰色で表示される。

- 本機以外で作成されたディスクの可能性がある。本機で再生はできますが、追加記録はできません。

撮影について

「撮影時の画像調節について」（86ページ）もご覧ください。

録画スタート/ストップボタンやフォトボタンを押しても撮影できない。

- 電源スイッチを（動画）または（静止画）にする（18ページ）。
- 直前に撮影した画像をディスクに書き込んでいる。[キャプチャー]または ▮▮▮▮ 表示中はフォトボタンを押せません（26、30ページ）。
- ディスクの空き容量がない。新しいディスクを入れるか、初期化する（DVD-RW/DVD+RWのみ）（49ページ）。
- DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWで、ディスクがファイナライズされている。追加記録可能な状態にする（48ページ）、または新しいディスクを入れる。
- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切り、約1時間放置する（102ページ）。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をディスクに書き込んでいる。

静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- [おしらせブザー]を[入]にする（64ページ）。

別売りのフラッシュが発光しない。

- フラッシュの電源が入っていない。または、正しく取り付けられていない。

実際の動画の録画時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を撮影すると、録画時間は短くなる（10、62ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切り、涼しい場所で約1時間放置する（102ページ）。

録画スタート/ストップボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、録画スタート/ストップボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがある。故障ではありません。

撮影時の画像調節について

「セットアップ項目の操作について」（89ページ）もご覧ください。

オートフォーカスができない。

- [フォーカス]を[オート]にする（55ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（55ページ）。

手ぶれ補正ができない。

- [手ぶれ補正]を[入]にする（57ページ）。
- [手ぶれ補正]が[入]になっていても、手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。

逆光補正ができない。

- [カメラ明るさ]の[マニュアル]や、[スポット測光]を設定すると、逆光補正は解除されます（54ページ）。
- シンプル操作中は、逆光補正（33ページ）ができません。シンプル操作を解除する（25ページ）。

ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。

- 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。

明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- [SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]、[COLOR SLOW S]のときに出る現象で、故障ではありません。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチをOFFにする（33ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチをOFFにする（33ページ）。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにしてバックライトを点灯させる（19ページ）。

画像が明るくなる、ちらつく（フリッカー）、色が変化する。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で、[ソフトポートレート]や[スポーツレッスン]モードで撮影したため。[プログラムAE]を解除する（54ページ）。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [手ぶれ補正]を[切]にする（57ページ）。

リモコンについて

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [リモコン]を[入]にする（64ページ）。
- 電池の＋極と－極を正しく入れる。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- コンバージョンレンズ（別売り）を付けていると、リモコン受光部をさえぎり、受光を妨げることがあるため、コンバージョンレンズを外す。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

次のページへつづく ➡

本機でのディスク再生について

再生できない。

- 電源スイッチを ▶（見る/編集）にする。
- 本機に対応したディスクかどうか確認する（11ページ）。
- 記録面を本機側に向けてディスクを装着する（22ページ）。
- 他機で記録したディスクは、本機で再生できないことがある。

画像が乱れる。

- 付属のクリーニングクロスでディスクをきれいにする（3ページ）。

ビジュアルインデックスの画像に ? が表示される。

- ディスクが汚れている。付属のクリーニングクロスでディスクをきれいにする（3ページ）。
- データの読み出しに失敗した可能性がある。電源を切ってもう1度入れたり、ディスクを入れ直したりすると正しく表示される場合がある。

音声が小さい。または聞こえない。

- [バイリンガル]を[切]にする（62ページ）。
- 音量を大きくする（31ページ）。
- 液晶画面を閉じていると音声は出ません。液晶画面を開く。
- [マイク基準レベル]（62ページ）を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合がある。

他機でのディスク再生について

再生できない、またはディスクが認識されない。

- 付属のクリーニングクロスでディスクをきれいにする（3ページ）。
- ディスクをファイナライズする（41ページ）。
- VRモードで記録すると再生できない機器がある。再生機器の取扱説明書で、互換性を確認する。

画像が乱れる。

- 付属のクリーニングクロスでディスクをきれいにする（3ページ）。

DVDメニューの画像に ? が表示される。

- ファイナライズ時にデータの読み出しに失敗した可能性がある。DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWの場合は、追加記録可能な状態にし（48ページ）、再度ファイナライズでDVDメニューを作成すると（42ページ）、正しく表示される場合がある。

各場面のつなぎめで、再生画像が一瞬止まる。

- 再生するDVD機器によっては、場面のつなぎめで再生画像が一瞬止まることがある。

⏮ ボタンを押しても、前の場面に移動しない。

- 本機で自動的に作成された2つのタイトルをまたぐと、⏮ ボタンを押しても場面に移動しないことがある。メニュー画面から選んで移動する。詳しくは再生機器の取扱説明書で確認する。

セットアップ項目の操作について

セットアップ項目が灰色で表示される。

- その項目は選択できません。

[プログラムAE]ができない。

- 次の設定のとき、[プログラムAE]は使えません。
  – NightShot/NightShot plus
  – [SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [オールドムービー]
- 電源スイッチを 📷(静止画)にしたとき、[スポーツレッスン]は使えません。

[スポット測光]ができない。

- 次の設定のとき、[スポット測光]はできません。
  – NightShot/NightShot plus
  – [SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]
  – [COLOR SLOW S]
- [プログラムAE]を設定すると[スポット測光]は[オート]に戻る。

[カメラ明るさ]を手動で調節できない。

- 次の設定のとき、手動で明るさを調節できません。
  – NightShot/NightShot plus
  – [SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]
  – [COLOR SLOW S]
- プログラムAEを設定すると、[カメラ明るさ]は[オート]に戻る。

[ホワイトバランス]を調節できない。

- 次の設定のとき、[ホワイトバランス]は調節できません。
  – NightShot/NightShot plus
  – [SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]

[スポットフォーカス]ができない。

- [PROGRAM AE]中は[スポットフォーカス]は使えません。

次のページへつづく ➡

[SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]ができない。

- NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチがONになっていない。
- 次の設定のとき、[SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]は使えません。
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]

[COLOR SLOW S]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW S]が正しく働かないときがあるため、NightShot/NightShot plusまたは[SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]で撮影する。
- NIGHTSHOT、またはNIGHTSHOT PLUSスイッチがONのときは、[COLOR SLOW S]はできません。
- 次の設定のとき、[COLOR SLOW S]は使えません。
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]
  – [プログラムAE]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]

[セルフタイマー]ができない。

- [フェーダー]中は[セルフタイマー]は使えません。

[フェーダー]ができない。

- 次の設定のとき、[フェーダー]は使えません。
  – [SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [デジタルエフェクト]

[デジタルエフェクト]ができない。

- 次の設定のとき、[デジタルエフェクト]は使えません。
  – [SUPER NS]、または[SUPER NSPLUS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [フェーダー]
- 次の設定のとき、[オールドムービー]は設定できません。
  – [プログラムAE]
  – [ピクチャーエフェクト]

[ピクチャーエフェクト]ができない。

- [オールドムービー]設定中は[ピクチャーエフェクト]は使えません。

[サラウンドモニター]が表示できない。

- 5.1chサラウンド記録をしていないとき、または[フェーダー]中は[サラウンドモニター]は表示できません。

[パネルバックライトレベル]を調節できない。

- 電源をACアダプターから供給している、または電源スイッチが（動画）か（静止画）のときに、液晶画面を外側に向けて本体におさめていると[パネルバックライトレベル]は調節できません。

本機での編集について(DVD-RW:VRモード)

DVD-R/DVD-RW(VIDEOモード)/DVD+RWでは本機での編集はできません。

編集できない。

- 画像が記録されていない。
- 画像の状態により編集ができなくなっている。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)されたディスクは編集できない。

プレイリストに追加できない。

- ディスクの空き容量がない、または追加した画像数が999を超えている、不要な画像を削除するか、静止画を1つの動画ファイルに変換する(フォトムービー、72ページ)。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- のついた画像は分割できません(68、71ページ)。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた動画は分割できません。

削除できない。

- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた画像は削除できません。

ダビング/外部機器接続について

つないだ機器(外部入力)の映像が、液晶画面やファインダーに映らない。

- P.メニュー → [録画操作]をタッチする(75ページ)。

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機ではズームできません。

音声が聞こえない。

- S映像プラグだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(73ページ)。

AV接続ケーブルを使ってダビングができない。

- ［画面表示出力］を［パネル］にする（65ページ）。
- AV接続ケーブルが正しくつながれていない。
  他機の画像を本機へダビングする場合は他機の出力端子へ、本機の画像を他機へダビングする場合は他機の入力端子へつながれているか確認する（73ページ）。

その他

画像の削除ができない。

- DVD-Rでは削除できません。
- DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWでは、直前に撮影した画像以外は削除できません（36ページ）。

ファイナライズができない。

- バッテリーを使用している。ACアダプターを使用する。
- ディスクがすでにファイナライズされている。DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWは追加記録可能な状態にする（48ページ）。

他の機器でディスクに追加記録や編集ができない。

- 本機で録画したディスクは他の機器では追加記録や編集ができない場合がある。

ディスクタイトルを入れられない。

- DVD-Rはファイナライズ後にディスクタイトルは入れられません。
- DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWで、ディスクがファイナライズされている。追加記録可能な状態にする（48ページ）。
- ディスクタイトルが本機以外で作成されているときは、本機で入れられないことがある。

フォトムービーを作成できない。

- 静止画が記録されていない。
- 静止画の撮影枚数が極端に多く、ディスクの空き容量が少ない。不要な画像を削除する（68ページ）。

おしらせブザーが5秒間鳴り続けている。

- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切って1時間放置してからもう1度電源を入れる（102ページ）。
- 本機に異常が発生している。ディスクを入れなおして再操作する。

パソコンとの接続について

本機がパソコンに認識されない。

- Picture Packageをインストールする（77ページ）。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、もう1度しっかりと差し込む。
- 本機、キーボード、マウス以外の、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう1度パソコンと本機をつなぐ。
- 次の手順でUSBドライバが正しくインストールされているか確認する。

Windows XPの場合

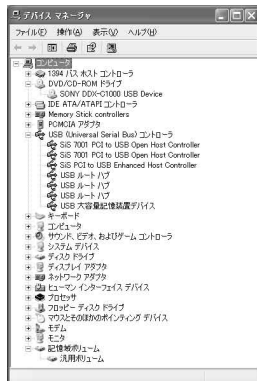
1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］をクリックする。
システムプロパティ画面が表示されます。

3 ［ハードウェア］タブをクリックする。

4 ［デバイスマネージャ］をクリックする。
デバイスマネージャ画面が表示されます。

5 次のデバイスが表示されることを確認する。
－［DVD/CD-ROM ドライブ］の中に［SONY DDX-C1000 USB デバイス］
－［記録域ボリューム］の中に［汎用ボリューム］
－［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］の中に［USB大容量記憶装置デバイス］
全てのデバイスが表示されればUSBドライバーは正常にインストールされています。もし表示されない場合は以下の操作でUSBドライバーをインストールしてください。

① 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ、マイコンピュータを開く。
② CD-ROMドライブアイコンを右クリックし、開くをクリックする。
③ ［DVD Driver］→［Setup.exe］をダブルクリックする。
インストールが始まります。

困ったときは

Windows 2000の場合

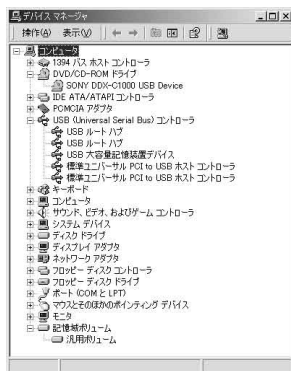
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックする。

2 [システム]をクリックする。
システムプロパティ画面が表示されます。

3 [ハードウェア]タブをクリックする。

4 [デバイスマネージャ]をクリックする。
デバイスマネージャ画面が表示されます。

5 次のデバイスが表示されることを確認する。
－[DVD/CD-ROM ドライブ]の中に [SONY DDX-C1000 USB デバイス]
－[記録域ボリューム]の中に [汎用ボリューム]
－[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の中に [USB大容量記憶装置デバイス]
全てのデバイスが表示されればUSB ドライバーは正常にインストールされています。もし表示されない場合は以下の操作でUSB ドライバーをインストールしてください。

① 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROM ドライブに入れ、マイコンピュータを開く。
② CD-ROM ドライブアイコンを右クリックし、開くをクリックする。
③ [DVD Driver]→[Setup.exe]をダブルクリックする。
インストールが始まります。

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、エラーメッセージが出る。

• パソコンのディスプレイを次のように設定する。
– 800×600 ドット、High Color(16bitカラー65 000色)以上

Macintoshパソコンで使えない。

• 付属のCD-ROMはMacintoshには対応していません。

本機の液晶画面に[USB接続中はシンプル操作に設定できません]または[USB接続中はシンプル操作を解除できません]と表示される。

- USB接続中はシンプル操作の設定、解除はできません。USBケーブルを外してから行ってください。

本機からパソコンへ画像が正しく転送されない。

- セットアップ項目の[USBスピード]を[フルスピード固定]にする(63ページ)。

本機の画像や音声がパソコンで正しく再生されない。

- Hi-Speed USB(USB2.0準拠)に未対応のパソコンに接続した場合は、正しく再生されない場合がある。パソコンに取り込む画像や音声に影響はありません。
- 本機の設定項目の[USBスピード]が[フルスピード固定](63ページ)に設定されている場合は、正しく再生されない場合がある。パソコンに取り込む画像や音声に影響はありません。
- お使いのパソコンによっては、再生画像や音声が一時的に停止することがある。パソコンに取り込む画像や音声に影響はありません。

パソコンから本機のディスクへ書き込みができない。

- 本機に対応していないディスクを入れている。本機に対応したディスクを使う(11ページ)。
- PicturePackage以外のソフトウェアから本機のディスクへの書き込みはできません。

Picture Packageが正しく動作しない。

- Picture Packageを終了し、パソコンを再起動する。

Picture Packageを使用中にエラーメッセージが出る。

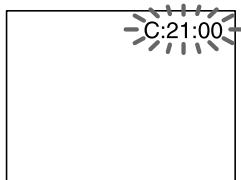
- 本機の電源スイッチは、パソコンのPicture Packageを終了させてから切り換える。

「ファーストステップガイド」が正しく表示されない。

- PDFの「ファーストステップガイド」をご覧ください。PDFファイルのコピーについて詳しくは、81ページをご覧ください。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーには、以下のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□
- "インフォリチウム"以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーを使う（101ページ）。

C:13:□□
- ディスクが不良である。本機に対応したディスクを入れる（11ページ）。
- ディスクに汚れや傷がある。汚れている場合は付属のクリーニングクロスできれいにする（3ページ）。

C:21:□□
- 結露している。電源を切り、約1時間放置する。（102ページ）。

C:32:□□
- 上記以外の症状になっている。ディスクを入れ直し、もう1度操作し直す。
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:40:□□/ E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□
- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

100-0001（ファイル関連の警告）

遅い点滅
- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

（ディスク関連の警告）

遅い点滅
- ディスクが入っていない。*
- 動画撮影時にディスク残量が5分を切った。
- 静止画撮影時にディスク残量が30枚を切った。

速い点滅
- 認識できないディスクが入っている。*
- 電源スイッチが（動画）または（静止画）のときに、ファイナライズされたDVD-RW（VIDEOモード）/ DVD+RWを入れた。*
- ディスクの容量がいっぱいである。*
- 片面のディスクを裏表逆にしているため、読み出しや記録ができない。
- 電源スイッチが（動画）のときに、本機と異なるテレビカラーシステムで記録されたディスクが入っている。*

⏏（ディスクを取り出す必要がある警告）*

速い点滅
- 本機では認識できないディスクが入っている。
- ディスクの容量がいっぱいである。
- 本機のディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

(バッテリー残量に関する警告)

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

(結露の警告)＊

速い点滅

- 結露している。
  電源を切り、約1時間放置する(102ページ)。

(温度の上昇関連の警告)

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。

速い点滅

- 本機の温度が著しく上昇している。＊
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

(フラッシュ関連の警告)＊

遅い点滅

- フラッシュ充電中

速い点滅

- フラッシュに異常がある。

＊ 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります(64ページ)。

お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ バッテリー

"インフォリチウム"バッテリーを使ってください(101ページ)

バッテリーを取りかえてください
(15、101ページ)

このバッテリーは古くなりました　取りかえてください (101ページ)

■ ドライブ

ドライブエラーが発生しました　電源を入れ直してください

- ディスクドライブに異常が発生した可能性がある。電源を切り、もう1度入れ直す。

■ 結露

結露しています　約1時間放置してください

結露しています　しばらくしてから取り出してください

■ ディスク

高温のため記録できません

高温のためディスクは取り出せません　しばらくお待ちください

記録できません

- ディスクに異常があり、記録できない。

動画用ディスク領域がいっぱいです 動画の記録はできません

- 不要な画像を削除する(68ページ)。

シーン数がいっぱいです　記録できません

- 不要な画像を削除する(68ページ)。

⏏ ディスクがいっぱいです　記録できません

- 不要な画像を削除する(68ページ)。

動画の記録はできません

- ディスクの状態により、動画の記録ができなくなっている。静止画は記録できる場合がある。

静止画の記録はできません

- ディスクの状態により静止画の記録ができなくなっている。動画は記録できる場合がある。

再生できません

- 本機に対応していないディスクは再生できない。

⏏ ファイナライズ済みディスクです 記録できません

- ファイナライズ済みのDVD-Rには記録できない。他のディスクを使う。

⏏ 記録できません　追加記録するにはファイナライズ解除してください

- ファイナライズ済みのDVD-RW(VIDEOモード)をファイナライズ解除する(48ページ)。

⏏ サポート外のディスクです 取り出してください

- 本機に対応していないディスクが入っている。またはディスクに傷がある、片面ディスクが裏返しに入っているなどの原因で、認識ができない。

⏏ フォーマットエラーです

- 本機と異なるフォーマットのディスクが入っている。DVD-RW/DVD+RWは初期化をすれば使える場合もある。

データエラーが発生しました

- ディスクへの書き込み中/読み出し中にエラーが生じた。

ディスクへのアクセスに失敗しました

- ディスクへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。

■ フラッシュ

充電中です。静止画記録はできません

- フラッシュの充電中は静止画を記録できない。

ストロボが充電できません　ストロボは使用できません

- フラッシュに異常があり充電できない。

■ レンズカバー

レンズカバーが開ききっていません　電源を入れなおしてください
(18ページ)

レンズカバーを閉じられませんでした レンズカバーを閉じたい場合は電源を1度切ってください
(18ページ)

■ シンプル操作

シンプル操作に設定できません
(25ページ)

シンプル操作を解除できません
(25ページ)

USB接続中はシンプル操作に設定できません(25ページ)

USB接続中はシンプル操作を解除できません(25ページ)

シンプル操作中は無効です
(25ページ)

シンプル操作中はこのディスクに記録できません

- シンプル操作中にファイナライズ済みのDVD+RWに記録しようとしている。シンプル操作を解除してから、追加記録可能な状態にする(48ページ)。

■ その他

ACアダプターを使用してください

- バッテリー残量が少ない状態で、ファイナライズ、初期化、追加記録をしようとしている。途中で電源が切れないようにACアダプターを使用する。

これ以上選択できません

- プレイリストには999までしか画像を追加できない。
- ディスクの空き容量が少なく、プレイリストに静止画を追加できない。

このチャプターは分割できません

- 静止画から変換された のついた動画は分割できない。
- 極端に短い動画は分割できない。

このデータはプロテクトされています

- 他機でプロテクト(誤消去防止)されたディスクを使っている。

ダビングプロテクトされています　録画できません

- 著作権保護のための信号が記録されている映像は録画できない。

予期せずディスクカバーが開きました 電源を入れなおしてください

データ修復中　⚠ 振動を与えないでください

- 本機では、ディスクに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。ディスクへの書き込みや編集ができなくなる場合がある。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V ～ 240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

カラーテレビ方式について

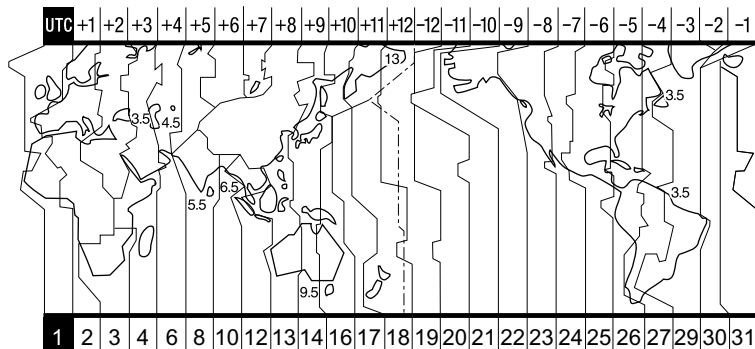
再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ 方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カ ナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能について

海外で使うときは、時間設定の［エリア設定］と［サマータイム］を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（21ページ）。

世界時刻表

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Pシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーPシリーズには InfoLITHIUM P マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10~30℃の範囲で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜き、バッテリーを取り外してください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、以下のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  – 高容量バッテリー「NP-FP70*/NP-FP90**」を使う。
- 液晶パネルの使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FP70*/NP-FP90**」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2~3倍の予備バッテリーを準備して、事前にDVD-RW/DVD+RW(別売り)でためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

* DCR-DVD403付属、DCR-DVD203別売り
** 別売り

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、基本設定で[自動電源オフ]を[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(65ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

取り扱い上のご注意とお手入れ

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温や低温になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- 本機からディスクを取り出しておいてください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるピックアップレンズやディスクに水滴が付くことで、故障の原因になります。結露が起こると、[💧 結露しています　約1時間放置してください]/[💧 結露しています　しばらくしてから取り出してください]と警告表示が出ます。
カメラレンズに結露が起きた場合は警告表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

電源を切って、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

以下のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないで下さい。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、付属のクリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

画面調節（キャリブレーション）について

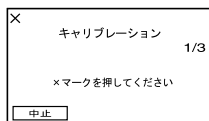
タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、以下の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

① 電源スイッチを ▶(見る/編集)にする。

② 本機からACアダプター以外のケーブル類を外し、ディスクを取り出す。

③ P.メニュー→[セットアップ]→ 基本設定→[キャリブレーション]をタッチ。

- 本機画面が4:3のときは、16:9に切り換わります。

④ 先の細いものを使って、画面に表示される×マークをタッチ。
解除するには[中止]をタッチ。
×マークの位置は変わります。

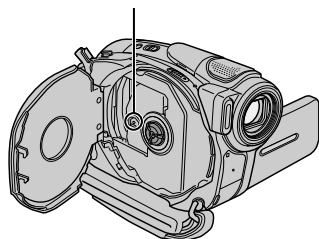
正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤のような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

ピックアップレンズについて

- 本機のピックアップレンズ(ディスクカバーの内側)に触れないでください。また、ほこりがつかないように、ディスクを出し入れするとき以外はディスクカバーを閉じておいてください。
- ピックアップレンズが汚れて本機が動作しなくなったときは、市販のブロアーを使ってクリーニングしてください。ピックアップレンズに直接触れてのクリーニングはしないでください。故障の原因となります。

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

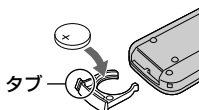
内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

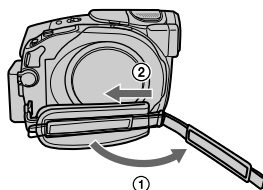
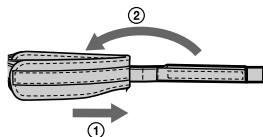
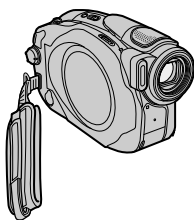
本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
② ＋面を上にして新しい電池を入れる。
③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

• リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

ストラップベルトをリストストラップとして使う

本機を持ち運ぶときに便利です。

1 当て布を開き（①）、金具から引き抜く（②）。

2 当て布を右側にずらしてから（①）、閉じる（②）。

3 図のようにして、リストストラップとして使う。

主な仕様

システム

映像圧縮方式　MPEG2/JPEG（静止画）

音声圧縮方式　Dolby Digital2/5.1ch
ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載

記録フォーマット　動画
DVD-R：
DVD-VIDEO

DVD-RW：
DVD-VIDEO
（VIDEOモード）
DVD-VideoRecording
（VRモード）

DVD+RW：
DVD+RW Video

静止画
Exif *1 Ver.2.2

映像信号　NTSCカラー、EIA標準方式

使用可能ディスク　8cmのDVD-R/DVD-RW/DVD+RW

録画/再生時間　HQ：約20分
SP：約30分
LP：約60分

ファインダー　電子ファインダー：カラー

撮像素子　DCR-DVD203
3.27mm（1/5.5型）CCD固体撮像素子
総画素数：約107万画素
静止画時有効画素数：約100万画素
動画時有効画素数：約69万画素

DCR-DVD403
5.9mm（1/3型）CCD固体撮像素子
総画素数：約331万画素
静止画時有効画素数：約304.8万画素
動画時有効画素数：約204.8万画素

レンズ　DCR-DVD203
カール ツァイス　バリオテッサー
12倍（光学）、24倍、150倍（デジタル）
フィルター径30mm
F値＝1.8-2.5
ｆ（焦点距離）：3.0-36mm
35mmカメラ換算：
動画撮影時
46-628.5mm（16：9）*2
48-576mm（4：3）
静止画撮影時
40-480mm（4：3）

DCR-DVD403
カール ツァイス　バリオゾナー T*
10倍（光学）、20倍、120倍（デジタル）
フィルター径30mm
F値＝1.8-2.9
ｆ（焦点距離）：5.1-51mm
35mmカメラ換算：
動画撮影時
42.8-495mm（16：9）*2
45-450mm（4：3）
静止画撮影時
37-370mm（4：3）

色温度切り換え　［オート］、［ワンプッシュ］、［屋内］（3200K）、［屋外］（5800K）

最低被写体照度　DCR-DVD203
15 lx（ルクス）（F1.8）
0 lx（ルクス）（NightShot Plus時）*3

DCR-DVD403
11 lx（ルクス）（F1.8）
0 lx（ルクス）（NightShot時）*3

*1 （社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット

*2 広角画素読み出しによる実動作値

*3 明るさが足りないために視認できない被写体を、赤外線ライトを使用して撮影可能にすること

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

次のページへつづく ➡

入/出力端子

A/V端子	10ピン特殊コネクター 入力/出力自動切り換え 映像:1 Vp-p、75 Ω不平衡 Y出力　1Vp-p、75 Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p、75 Ω不平衡 音声:327mV(47 kΩ負荷時)、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダンス2.2 kΩ以下
USB端子	mini-B
REMOTE(リモート)端子	ステレオミニミニジャック(ø 2.5mm)

液晶画面

画面サイズ	6.9cm(2.7型 アスペクト比16:9)
総ドット数	123200ドット 横560×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力(バッテリー使用時)	液晶画面使用時: DCR-DVD203:3.5W DCR-DVD403:4.9W ファインダー使用時: DCR-DVD203:3.0W DCR-DVD403:4.5W
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	−20℃〜+60℃
外形寸法	DCR-DVD203 57×87×131mm (最大突起部を除く)(幅×高さ×奥行き) DCR-DVD403 62×93×133mm (最大突起部を除く)(幅×高さ×奥行き)
本体質量	DCR-DVD203 約 440g(本体のみ) 約 500g(バッテリーパック、ディスクを含む) DCR-DVD403 約 520g(本体のみ) 約 620g(バッテリーパック、ディスクを含む)
付属品	14ページをご覧ください。

ACアダプター　AC-L25A/L25B

電源	AC100〜240V、50/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC8.4V*
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	−20℃〜+60℃
外形寸法	約56×31×100mm (最大突起部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)
質量	約190g(本体のみ)

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック
NP-FP50 (DCR-DVD203)

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	4.9wh(680mAh)
最大外形寸法	約31.8×18.5×45.0mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約40g
使用温度	0℃〜+40℃
使用電池	Li-ion

NP-FP70 (DCR-DVD403)

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	9.8wh(1360mAh)
最大外形寸法	約31.8×33.3×45.0mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約85g
使用温度	0℃〜+40℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

ア行

アイコン.............画面表示へ
赤目軽減.........................56
明るさ調節
..フレキシブルスポット測光へ
アクティブインターフェイス
シュー...........................76
アフターサービス..........107
インフォリチウムバッテリー
...................................101
液晶画面........................19
　パネル明るさ............63
　パネル色のこさ.........63
　パネルバックライト
　レベル.....................63
オートシャッター...........55
オーバーラップ...............60
オールドムービー...........60
屋外...............................55
屋内...............................55
おしらせブザー...............64
お知らせメッセージ.........97
お手入れ......................102
主な仕様......................105
オリジナル画像...............68
　削除.........................68
　分割.........................68
音量調節........................31

カ行

海外で使う...................100
カウンター.....................37
画質...............................58
画像サイズ.....................58
カメラ明るさ............54, 89
カメラ設定.....................54
カメラデータ..................63
画面調節......................102
画面表示........................37
画面表示出力..................65
画面表示/バッテリーインフォ
ボタン...............19, 20, 35
基本設定........................62
逆光補正........................33
キャリブレーション.......102
クリーニングクロス.........14
警告表示........................96
結露.............................102
広角...............................32
高速転送........................10
コンセント.....................15
コンピューター.....パソコンへ

サ行

再生........................27, 31
再生ズーム.....................34
撮影........................26, 30
撮影可能時間..................16
撮影可能枚数..................58
サマータイム..................21
サラウンド外部マイク設定
.....................................62
サラウンドモニター.........62
三脚...............................34
サンセット＆ムーン.........54
残量表示
　ディスク..................37
　バッテリー...............35
時間設定........................65
自己診断表示..................96
時差補正......................100
自動電源オフ..................65
視度調整つまみ...............19
自分撮り........................34
充電時間........................16
充電ランプ.....................15
主音声...........................62
準備
　パソコン..................77
初期化...........................49
シンプル操作..................25
シンプルボタン...............25
ズーム...........................32
ズームレバー..................32
スタンダード..................58
スピーカー.....................35
スポーツレッスン...........54
スポット測光
..フレキシブルスポット測光へ
スポットフォーカス.........55
スポットライト...............54
スライドショー...............60
静止画
　画質.........................58
　画像サイズ................58
静止画設定.....................58
赤外線発光部..................33
絶縁シート.....................39
接続
　テレビに............40, 73
　パソコンに...............77
　ビデオ機器に............73
セットアップ項目...........50
　一覧.........................52
　カメラ設定................54
　基本設定..................62
　時間設定..................65
　静止画設定...............58
　操作方向..................65
　使いかた..................50
　ディスク設定............61
　パーソナルメニュー...66
　ピクチャーアプリ......59
セピア...........................60
セルフタイマー...............57
操作音.......おしらせブザーへ
ソフトウェア..................77
ソフトポートレート.........54

タ行

対面撮影........................34
タッチパネル..................20
ダビング........................74
端子...............................76
著作権..................2, 81, 99
追加記録........................48
ディスクカバーオープン
スイッチ........................22

ディスク残量............37, 64
ディスク設定..................61
ディスクタイトル 43, 61
データコード..................63
デジタルエフェクト ...60, 90
デジタルズーム...............57
手ぶれ補正................57, 86
デモモード.....................61
テレビ 40, 73
テレビ方式...................100
電源コード.....................14
電源スイッチ..................18
動画
　録画モード...............62
時計あわせ.....................21

ナ行

内蔵ステレオマイク 34
日時あわせ.....................21

ハ行

パーソナルメニュー ...50, 66
　項目削除..................66
　項目追加..................66
　表示位置変更............66
　リセット..................67
パーソナルメニュー
ボタン 37
バイリンガル..................62
パステル........................60
パソコン........................77
　推奨使用環境............77
バッテリー.....................15
バッテリーインフォ 35
バッテリー残量...............35
バッテリー取り外しボタン
.....................................16
パネル ....液晶画面へ
パネル・VF設定...............63
パネル明るさ..................63
パネル色のこさ...............63
パネルバックライトレベル
.....................................63
ビーチ＆スキー...............54
ピクセラユーザーサポート
センター 81
ピクチャーアプリ 59
ピクチャーエフェクト 60
ピクチャーパッケージ
.... Picture Packageへ
ビジュアルインデックス
..............................27, 31
ピックアップレンズ 103
日付時刻データ...............63
比率 24
ピント合わせ.... フォーカスへ
ファーストステップガイド
..............................77, 81
ファイナライズ...............41
ファイナライズ解除 48
ファイルナンバー 59
ファイン 58
ファインダー..................19
　明るさ 63
　視度調整..................19
風景 54
フェーダー...............59, 90
フォーカス...............55, 86
フォトムービー.........43, 72
副音声 62
ブラックフェーダー 60
フラッシュ設定...............56
フラッシュモード 56
フラッシュレベル 56
フルスピード固定 63
プレイリスト............69, 70
　移動 70
　消去 70
　追加 69
　分割 71
フレキシブルスポット測光
..............................54, 89
プログラムAE..........54, 89
プロテクト（誤消去防止）
.........................49, 91, 99
ヘルプ 77
編集 68
望遠 32
保証書 107
ボタン型リチウム電池 104
ホワイトバランス 55, 89
ホワイトフェーダー 60

マ行

マイク基準レベル 62
前の画像/次の画像ボタン
..............................27, 31
満充電 16
モザイク 60
持ちかた 18
モノトーン.....................60

ラ行

リストストラップ 104
リセット 35
リチウム電池................104
リチャージャブルバッテリー
パック .... バッテリーへ
リモコン 39
リモコン受光部...............35
リモコン発光部...............39
ルミキー（ルミナンスキー）
.....................................60
レビュー 36
レビュー削除..................36
連写 58
　ノーマル..................58
　ブラケット...............58
レンズカバー............18, 30
録画モード.....................62
録画ランプ...............35, 64

ワ行

ワイド 24
ワイプ 60
ワイヤレスリモコン
..........................リモコンへ
ワンプッシュ..................55

次のページへつづく ➡

アルファベット順

A/V端子 40, 73
ACアダプター 15
BATT（バッテリー）取り外しボタン 16
COLOR SLOW S..... 57, 90
DCプラグ...................... 15
DC IN端子 15
DVDドライブ 46
DVDメニュー 42
HQ 62
ID-1/ID-2...................... 40
InfoLITHIUMバッテリー 101
LP 62
NIGHTSHOT、NIGHTSHOT PLUS スイッチ 33
NS LIGHT（NightShotライト）......... 57
NightShot/NightShot plus.............. 33
P.メニュー ....パーソナルメニューへ
Picture Package 77
RESET（リセット）ボタン 35
SP 62
Super NightShot/Super NightShot plus ... 56
SUPER NS、SUPER NSPLUS 56, 90
S映像ケーブル 40, 73
TVタイプ....................... 40
USB1.1 .... 63, 78
USB2.0 .... 63, 78
USBケーブル 14
USBスピード 63
USB端子.................. 76, 78
USBドライバー 77
VFバックライト 63
VFワイド表示 63
Windows...................... 77

数字

4CHマイク.................... 62
5.1chサラウンド記録 32

商標について

- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタル5.1クリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。
- DVD-R、DVD-RW、DVD+RWロゴは商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- Picture Packageはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshはApple Computer, Inc.の商標です。
- Windows Media Playerは、MicrosoftCorporationの商標です。
- MacromediaおよびMacromedia Flash Playerは米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では.TM、®マークは明記していません。